

令和5年度 事業報告

恋ヶ窪ブロック

国分寺市立

第一・第二東恋ヶ窪学童保育所

第一日吉町学童保育所

西恋ヶ窪学童保育所

(労働者協同組合ワーカーズ・センター事業団)

令和6年5月30日

目 次

- 1．管理業務等の体制及び実施状況（管理業務及び自主事業）
- 2．決算状況等及び施設の利用実績（決算収支状況、公の施設の利用実績（利用者数、利用率等））
- 3．従事者育成に係る研修実績報告
- 4．利用者意見及び自己評価（利用者アンケート調査結果、事業実施状況自己評価）
- 5．苦情対応に係る記録
- 6．事業計画書に掲載した計画の実施状況
- 7．その他管理の実態を把握するために必要な事項等

1. 管理業務等の体制及び実施状況（管理業務及び自主事業）

（1）管理業務等の体制（別紙【資料1】参照）

第一・第二東恋ヶ窪学童保育所・・・責任者1名、常勤者3名

第一日吉町学童保育所・・・責任者1名、常勤者2名

西恋ヶ窪学童保育所・・・責任者1名、常勤者3名

（2）学童保育所の運営

①保護者会

年2回実施した。日々の子どもたちの様子を伝えるとともに、保護者と情報交換を行った。

②学童だより

【第一・第二東恋ヶ窪学童保育所、第一日吉町学童保育所、西恋ヶ窪学童保育所】

令和5年4月から令和6年3月（7月8月は合併号）の計11回発行した。

③保護者の会との連携

【第一・第二東恋ヶ窪学童保育所】

令和5年度より保護者の会がなくなった。

【第一日吉町学童保育所】

保護者の会役員の方より依頼されて、おたよりを受け取り、配布をし、役員の保護者がお迎えの方だったため、役員の方と学童保育所との連絡は密にとれた。また、今年度も保護者の会よりクリスマスプレゼントとしておもちゃを学童保育所へ寄贈していただいた。

第二第三日吉町学童保育所の保護者の会も同じ組織だったので引継ぎの際に連絡を取り、新入所説明会の時に両施設とも保護者の会の説明がスムーズに行えるようにすることができた。

【西恋ヶ窪学童保育所】

今年度は保護者の会からクリスマスプレゼントとしてお菓子を、進級祝いとしてお絵描きタブレットと図書カードを個人個人にいただいた。

※「保護者会」と「保護者の会」は各々違い、「保護者会」は年に数回学童保育所主催で日々の様子等を伝える場である。「保護者の会」は保護者の皆様が運営しているものである。

（３）入所児童の育成指導（別紙【資料２】参照）

【第一・第二東恋ヶ窪学童保育所】

① 食育活動

学童保育所の花壇でいちご・数珠玉を植え、水やりをして育てた。

日々の水やりは全体に声かけをするが、任意でお世話をしてもらった。

育った野菜や果物はお世話をしたことがある子どもたちで持ち帰った。

『原木椎茸栽培』

今年度も原木椎茸の栽培を植菌から水やりをし、収穫の前には原木を浸水させ、地面にトントンと打ち付けることで刺激すると、数日後に椎茸が出てきて収穫することができた。

椎茸は収穫して持ち帰り、各ご家庭で食していただいた。

椎茸が苦手な子もチャレンジして食べられたよと教えてくれた。



『昼食提供』

学童保育所で昼食を摂る日の内、何日かで、学童保育所で購入した市販の食事や職員の手作り昼食を提供した。今年度はお弁当の日として職員がプルコギ肉野菜炒めを作り、バイキング形式で自分の思い思いのお弁当を作る企画も行った。また、お友だちと同じものを食べる楽しみも感じてもらった。すべての共通目的として保護者の負担を軽減しようとの昼食提供を実施した。食事の購入に当たっては、地域のお店などを利用した。

7月：からあげ弁当、8月：からあげ弁当、お弁当の日（手作り昼食）、12月：からあげ弁当

『手作りおやつ』

久しぶりに手作りおやつの提供をした。職員が３種類のゼリーを作り、好きなフルーツを入れ最後にアイスをトッピングし、オリジナルのパフェを作って食べた。全学年コロナ禍だったこともあり、手作りおやつは初めてだったこともあり、とても喜んで食べていた。

② 行事・企画

『新入生歓迎会』

職員が一人ひとり名前を呼び、新入生に手を挙げて返事をしてもらい立ち上がってもらった。その場では代表者に２年生以上からのプレゼント（手作りのプラ板）を渡し、降所前に全員へ渡した。

『七夕飾り制作』

七夕の飾りの意味などを伝えながら折り紙で飾りを作り一人ひとりが願い事を書いた。今年度も地域の方から竹をいただき、学童保育所の玄関に飾り、お迎えの保護者にも見てもらった。

『水鉄砲遊び』

7月に放課後子どもプランと共催で水鉄砲を開催した。低学年対象の部と全学年対象の部の二部で行った。最初は控えめにやっていた子も、最後の方は職員に向けてやっている姿もあり子どもたちはみんな楽しそうに遊んでいた。



『大掃除』

学期ごとに行った。各自のロッカーを掃除した後に、それぞれの担当に分かれて掃除をした。きれいに拭くだけではなくおもちゃを直す姿もあり、みんな一生懸命取り組んでいた。

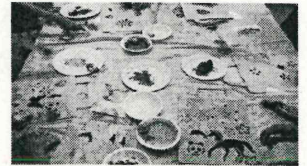
『シアターデイ』

食休みの時間に体をゆっくりと休めるために実施した。育成室の壁にスクリーンを貼り、DVD鑑賞をした。子どもたちは毎回何が観られるのか楽しみにしている様子があった。今回は途中で水分補給休憩を設けて、リンゴジュースの提供を行った。

『夏休み工作（ステンシルでエコバック制作）』

午前と午後に分け、全員が制作した。一人ひとりが好きな型を選んで、エコバッグに好きな色の絵の具を使ってステンシルで装飾した。

絵の具には無い色をと2種類の絵具を混ぜ、色々な色を作ったりグラデーションを付けたりし、みんな違う個性的なオリジナルエコバッグが完成し、子どもたちはとても嬉しそうに持ち帰っていた。次の日には制作したオリジナルエコバッグを使用している子もいた。



『縁日』

もぐらたたきや射的など7種類のお店を合同班で担当し、「みんなで力を合わせて楽しい縁日にしよう」をテーマに自分たちで選んだお店の準備を、看板やポスターから店のルール決めまでみんなで協力して行った。当日は体育館をお借りし店番もみんなで上手に役割分担をして協力しながら楽しめた。



『敬老の日工作』

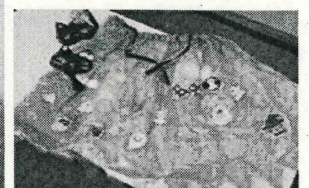
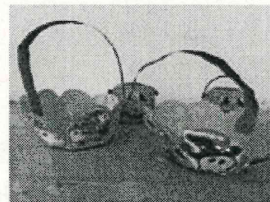
敬老の日に向けてしおり作りを行った。
クラフトパッチで切り抜いた花を花束に見立てるなど思い思いのしおりを作っていた。

『マジックを楽しもう』

地域で活躍されている方たちに来ていただき、学年ごとを対象に3回実施していただいた。トランプやロープを使ったマジックを披露していただき、子どもたちはとても盛り上がっていた。最後は子どもたちからメッセージカードを渡し、感謝の気持ちを伝えることが出来た。

『ハロウィン工作』

ハロウィン工作では、かわいい仮面や子どもたちの個性が光るオリジナルマント、お菓子を入れるカボチャの手さげバックを制作した。



『ハロウィン』

ハロウィン仕様のおやつを食べた後、各々仮装して「ハロウィンクイズスタンプラリー」を行った。友だちと協力しながら頑張ってクイズを解いていた。



『勤労感謝の日工作（ペン立て制作）』

勤労感謝の日とはどんな日なのかとみんなで考えるところから始め、毎日頑張って働いている保護者の皆さんや、私たちの生活を支えて下さっている人々へ感謝する日であることをお話しした。その後は、保護者への感謝を込めて、「この色が好きだから」や「このキャラクターが好きなんだ」と渡す人を思い描きながら世界に一つだけのメッセージ入りのペン立てを工作した。



『クリスマス制作』

クリスマス制作では何色かあるプラカップから好きな色を選び、最後にLEDライトを入れ「オリジナルクリスマスキャンドル」を制作した。好きな絵を描く子やクリスマスに因んだ絵を描く子もいてそれぞれ素敵なクリスマスキャンドルが出来上がった。

『クリスマス会』

今年もクリスマス会は、体育館で行った。有志で募った出し物では歌やダンス、マジックを披露してくれた。

全体でのレクリエーションではジェスチャークイズと自己紹介じゃんけんを行い、みんなで「あわてんぼうのサンタクロース」を歌いとても盛り上がった。最後にはトナカイに扮した子どもたちがサンタさんを連れてきてくれ、プレゼントを持ってきてくれた。

『伝承遊び』

手作りの凧やコマは作りその後実際に遊んだ。それ以外にも、巨大な福笑いやかるた、坊主めくりをして伝承遊びに触れた。

コマは好きな絵や模様を描き回転したらどんな色になるのか考えながらオリジナルのコマ作りを行いみんなで楽しんだ。凧も色とりどりのビニールに思い思いの絵を描いたオリジナルな凧を制作した。外遊びの時間に校庭で凧揚げを楽しんだ。高く舞い上がった凧を見上げ「すごい！上がった！」と笑顔を見せてくれた。

『節分』

事前に鬼の顔の形をした紙に「イライラ鬼」や「泣き虫鬼」など、自分の心の中にいる鬼を書いてもらった。当日は、「節分とは何なのか」という話をした後、エアー豆まきをして、鬼を退治した。その後、東北東の方向を向いて、恵方巻を食べた。帰りの会では節分に関する紙芝居を読み聞かせを行い、知識を更に深めた。

『卒所制作』

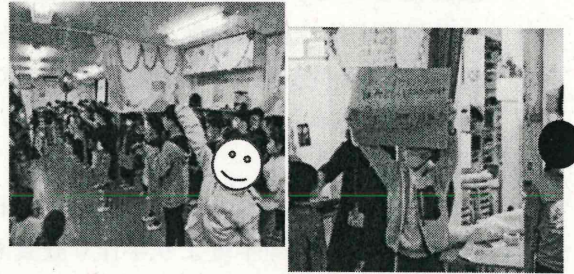
卒所生はオリジナルのカレンダーを制作した。好きな月を選んでもらい、季節に合った絵を描いた。第一と第二の2つのオリジナルカレンダーが完成された。また、在所生は卒所生に小物入れを制作した。

『新入生へのプレゼント作り』

次年度の新入生に向けてプラバンに丁寧に絵を描き写し、心を込めてプレゼント作りを行った。

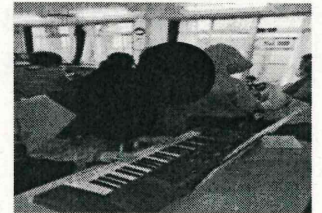
『ありがとうの会』

1年間のありがとうの気持ちを込めて「ありがとうの会」を行った。はじめは卒所する三年生にリボン係の一・二年生からリボンを胸につけてもらい、三年生はみんなの前で頑張りたいことを発表した。三年生はピアノに合わせて歌ったり、手品をしたり、一・二年生はみんなで歌って会を盛り上げてくれた。



『誕生会』

毎月その月の誕生児をみんなでお祝いした。司会、ピアノを毎月募集し、当日までに練習してみんな上手に発表していた。人数が多いため、学校と学童保育所で分散して誕生会を行うことが多かった。



『避難訓練』

5月：不審者想定 7月：地震想定 9月：火災想定 11月：地震想定
2月：火災想定（1月に実施予定だったが、放課後子どもプランと被ってしまったため2月に延期）
3月：不審者想定（小金井警察の方に来ていただき実施）

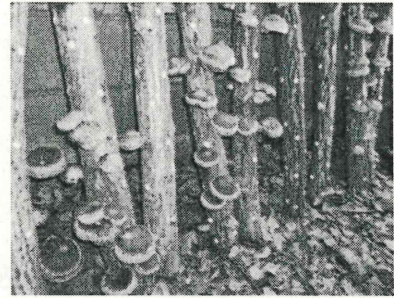
【第一日吉町学童保育所】

①食育活動

『原木椎茸栽培』

例年同様、[REDACTED]さんにご協力いただき、椎茸の栽培を行った。原木への植菌から、給水、収穫に至るまで、子どもたちに行程を体験してもらった。今年は班活動の一環でしいたけの水やり当番を作り、子どもたち全員が関わるようにした。

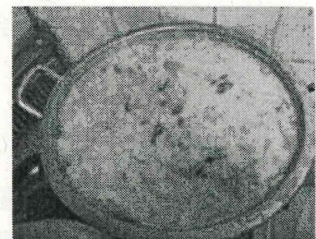
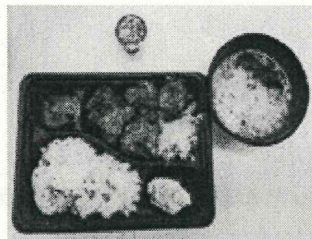
今年は椎茸の生育が良くなく、数が多く収穫できなかったが、取れたしいたけは冬休みの昼食提供の際にシチューの具材にして子供たちには提供を行った。自分たちの手で育てたしいたけは普段しいたけを食べない子たちも食べてみていて好評だった。



『昼食提供』

学童保育所で昼食を摂る日の内、何日かで、学童保育所で購入した市販の食事や職員の手作り昼食を提供した。今年度より手作り昼食も再開しており、収穫したしいたけを使用したシチューを職員が作り提供を行った回もあった。ほかにもお弁当の日として職員が焼きそばなどを作り、バイキング形式で自分の思い思いのお弁当を作る企画も行った。すべての共通目的として保護者の負担を軽減しようとするこの昼食提供を実施した。食事の購入に当たっては、地域のお店などを利用した。

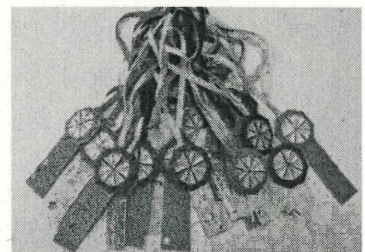
- 昼食提供 8月
- 昼食提供（手作り）12月
- お弁当の日 3月



②行事・企画

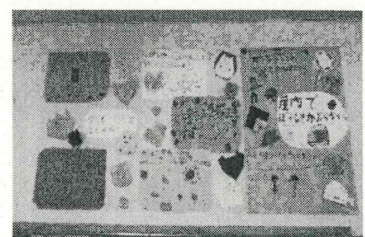
『新入生歓迎会』

1年生が、事前に行った自己紹介カードをもとに1人ずつ自己紹介をし、2、3年生が作ったメッセージ付きの折り紙のメダルをプレゼントされた。2、3年生からは「おめでとう」、1年生からは「ありがとう」というやりとりが何度も聞こえた。プレゼントのお返しとして、1年生からは練習していた合唱の披露もあり、改めて学童保育所の仲間となったことを実感した。



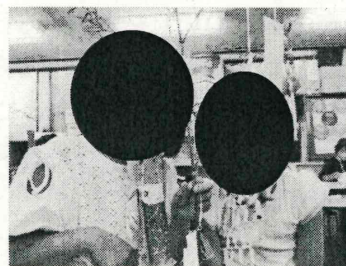
『子ども会議』

新年度に入り、改めて学童保育所の生活を確認した。育成室に掲示する標語を作成するため、班ごとに相談してもらい、書き出してもらった。促した職員が驚くような標語も作られ、子どもたちの成長と着想に驚かされた。貼りだす標語は子供たちに制作してもらい一年間の過ごし方の目標を自分たちの手で書くことで意識できるようにした。



『七夕飾り制作』

地元の方から竹をいただき、学童の玄関に飾る用、子どもたちの持ち帰り用の小さな笹をいただいたので、それにつるす短冊や飾りの作成を行った。飾りは折り紙、切り紙など、事前に職員が用意したもの、自分で作成したものと、バラエティに富んだものがつけられた。短冊には思い思いの願いごとが書き込まれ、子供たちは嬉しそうに自分専用の七夕飾りを持ち帰った。



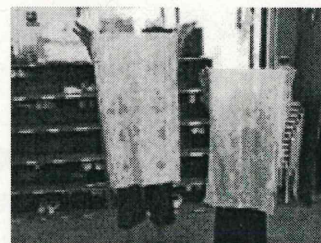
『買い物おやつ』

「お店屋さん」と「お客さん」に分かれ、手作りのコインを使い、限られた資金の中で好きなおやつを選ぶという行事。擬似的な売買を楽しく学んでもらうとともに、普段あまり提供しないようなおやつに触れさせたいという狙いもあった。6月、9月、2月の計3回開催した。



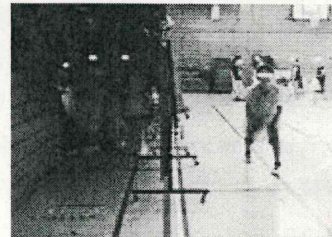
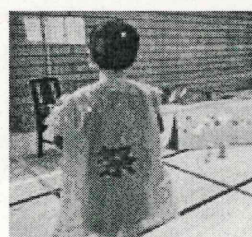
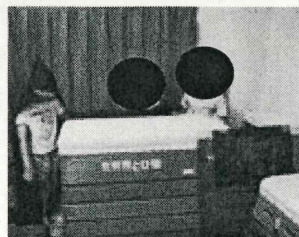
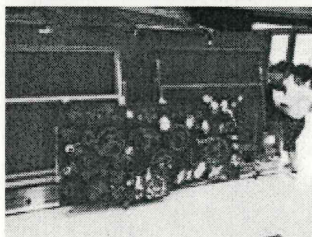
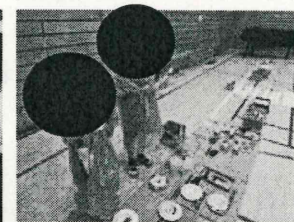
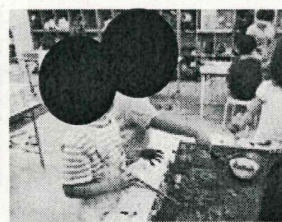
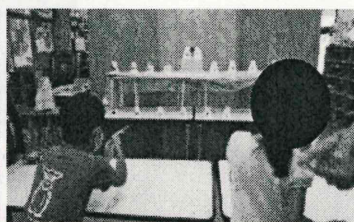
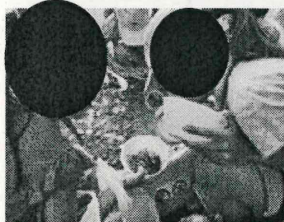
『夏休み工作』

猛暑を避けるため室内で過ごす子どもたちに、工作を提供した。今回はさらしを天然の染料で染めてオリジナル手ぬぐいを作った。天然の染料として、玉ねぎの皮や大葉を煮出して色付けをした。輪ゴムやひもを使い、布を縛り上げて染色を行い、色も模様も一つとして同じものではなく、自分だけの手ぬぐいを完成させることが出来た。



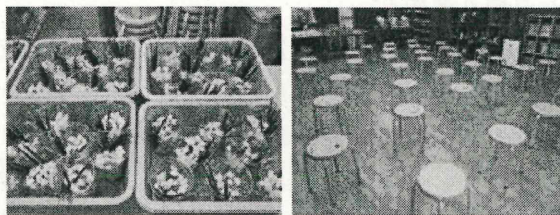
『縁日』

今年度は学校の体育館を借用できたので、子どもたちのやりたい出し物第1位の『おばけやしき』と、子どもたち手作りの景品を貰える『くじ引き屋さん』を体育館で行った。学童保育所内では『射的』、校庭では『ヨーヨー釣り』と『スーパーボールキラキラすくい』を行った。今回は子どもたちの中で希望者のみお店屋さん担当もしてもらい、制作物は全員で協力して看板や衣装、装飾などを短期間で準備し、そのおかげでとてもクオリティーの高いものにすることが出来た。学年を問わず協力して一つのものを作り上げる楽しさと大変さを子どもたちは経験できた。



『シアターデイ』

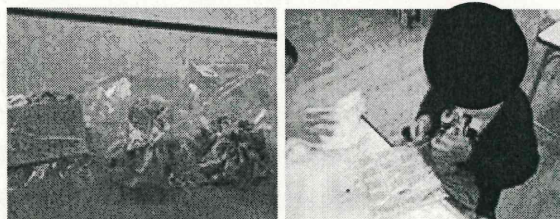
育成室で DVD を鑑賞する行事で、実際の映画館と同じようにチケットを作り自分の決められた席に座り鑑賞できるようにした。この日はおやつにポップコーンなども用意して雰囲気を高めつつ映画の鑑賞を楽しんだ。



『敬老の日に寄せて』

今年度は手ぬぐいを使った巾着作りに挑戦した。日々、登所している子のほとんどの子が作ることができた。ぬいものが初めての子や、苦手な子も作り始めると楽しそうに取り組んでいた。

おじいちゃんおばあちゃんのことを思い完成した作品はどれも素敵なものになった。子どもたちからは、「おじいちゃんのおうちに送ったよ」「もうひとつ作りたい」と、好評を得られた。



『ハロウィンパーティー』

ハロウィン工作としてカラーポリ袋で制作した、仮装の衣装を着て行う行事。黒や紫をはじめとした色とりどりのカラーポリ袋に、折り紙の飾りやペイントを思い思いに施して、お化けの仮装を用意した。シルクハットや仮面など、その他の仮装の小道具作りにも熱が入った。個性豊かな衣装に身を包んだ子どもたちは校庭に出てピンポン玉を目玉に模した玉をスプーンで協力して運ぶ目玉運びスプーンリレーを開催した。白熱した戦いで子どもたちの一喜一憂が校庭に響いていた。



『勤労感謝の日に寄せて』

今年度も地域の方から材料を提供していただき、その木の実や枝を使った木工工作进行了。メモスタンドになるように工夫したりとする子もいてその発想に驚かされたりと、子どもの発想をいきいきと活かせる作品作りの環境を作ることが出来た。作品とともにメッセージカードを付けて普段伝えられない思いをこめて制作に励んでいた。



『エクセルシオール（老人ホーム）訪問』

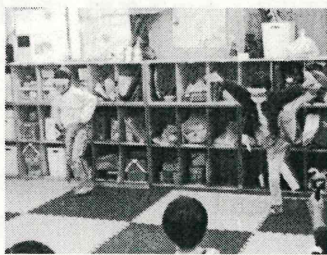
コロナ過でかかわりが希薄になっていた近所の老人ホームとの交流を再開し始めた。久々の交流であったのでお互いに打ち合わせをしつつ、開催を目指した。最初は少人数スタートでということで、利用者様のお使いを肩代わりするという企画を行った。子どもたちは近所のスーパーに頼まれたものを買っていき、利用者様に届けて利用者様と交流を行った。子どもたちは役に立てたことが誇らしげで、利用者様も子どもたちと関わることが嬉しそうであった。

『クリスマス制作』

今年度はボンボンを使ったクリスマスリース作成を行った。毛糸のボンボン8個を好きな色で作
り、型紙に合わせてボンボンを1つずつ結んでいき丸形に仕上げていった。最初はボンボンづくり
に時間がかかるものの、慣れてくるとその工程は、スムーズに仕上げられるようになっていった。
色々な色の毛糸を使うことで、個性的なリースに仕上がって予想以上の出来上がりだった。

『クリスマスお楽しみ会』

お菓子のつかみ取りやビンゴ、職員の出し物、そしてサンタクロースの来訪と、子どもたちが毎
年、楽しみにしている行事。クリスマス会ということで、おやつや景品など個人のプレゼントを選ぶ
機会も多かったが、子どもたちはあまりそれにとらわれず、素直にプログラムを楽しんでいた。有志
による子どもたちの出し物は、多くの発表者があり、緊張して思った通りにできなくなってしまう
等、不測の事態も予想されたが、最初に発表した数組が堂々とパフォーマンスをやり切ったことに
勇気を貰ったのか、みな練習通りに力を出し切り、万雷の拍手を受けた。



『大掃除』

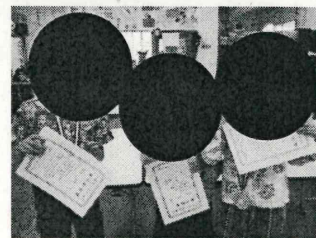
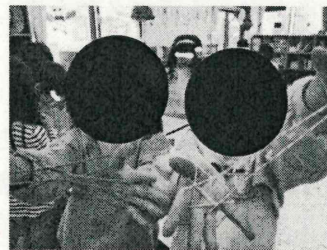
床掃除や下駄箱掃除など、担当ごとに分かれ、年末の大掃除を行った。
特に、クリスマスプレゼントなどで図書や遊具の増えた本棚やロッカー
は、整理も含めての掃除となり、決められた一時間の間のことではあるが、
かなり大がかりなものとなった。みな積極的に取り組んでおり、自分の担
当が終わった後、他の場所の掃除を手伝ってくれる子どもも多くいた。



『伝承遊び』

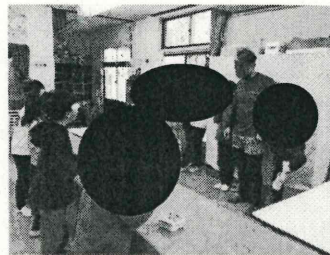
年明けから2ヶ月ほどの間に例年設けられている、こま、けん玉、か
るた、おはじき、お手玉、あやとりなど、昔ながらの遊びに興じる時間。
後半にはこま、けん玉、あやとりの検定も行われ、優秀者には表彰もさ
れるとあって、子どもたちは競って取り組んでいた。今年度は学童保育
所初となる1年生の優勝者が誕生した。優勝者に限らず、子どもたちは
熱心に練習を重ねており、初めは何もできなかった1年生が上級生のレ
クチャーによって、短期間で上達する姿も多く見られた。出来なくて悔
し涙を流し、必死に練習して成功できた時に見せる成長の様子に思わず
職員も目頭が熱くなった。

今年度も、ボランティアのインストラクターの方にもお越しいただき、
技術の指導をしてもらいつつ、あやとりでオリジナルの技を考えるなど、
子どもたちの取り組みにも一層熱が入った。



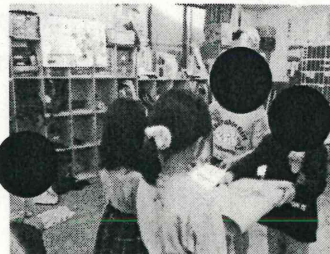
『節分』

立てかけた板に張り付けた鬼の絵に向かって、殻付きの落花生を投げて豆まきをするのが恒例だが、今年度も手作りの鬼のお面を被った子どもたちが参加した。「鬼は外!!」と投げられる落花生を、手にした金棒で打ち返す一幕もあった。おやつには、細巻きと個包装の福豆を食べて、一年の健康を願った。



『卒所制作』

卒所生の記念制作として、自分の名前を打ち込み好きな色を塗ったレザータグを制作した。職員からの卒所おめでとうのメッセージカードとともに、卒所生を送る会でプレゼントした。また、卒所生が力を合わせて作った次年度のカレンダーと学童保育所へ残る在所生に向けたメッセージファイルは、同じく卒所生を送る会において、在所生へ贈呈された。手作りのカレンダーは歴代のものと同じく、次の1年間、学童保育所の育成室を飾り、その道標となる。



『卒所生を送る会』

今年度の学童保育所の中心となって活躍してくれていた3年生の締めくくりとなる送別会を行った。記念贈呈品は、卒所生が作った卒所制作のネームタグと職員全員からのお祝いのメッセージカード。卒所生からは、1、2年生に向けたメッセージと、カレンダーがプレゼントされ、さらに『365日の紙飛行機』の合唱と得意技の披露があった。1、2年生からは、お返しとして『ありがとうの花』の合唱が3年生に贈られた。また、第一日吉町学童保育所から配属が変わる職員にも、子どもたちからありがとうのメッセージが贈られた。



そして、最後のおやつは、シフォンケーキにクリームやフルーツ等を自由にトッピングして自分で飾り付けたおやつを食べながら、3年生の最後の学童生活に名残を惜しんでいた。



『誕生会』

毎月、誕生児の子どもたちのリクエストでおやつもケーキやアイス、ドーナツ等色々な工夫をして誕生児の子が喜んでもらえるおやつになるように工夫をしている。誕生会でのレクリエーションゲームでは異学年協力活動为目标に班対抗でゲームをしたり、誕生月の子たちをフューチャーしたクイズをしたりと、毎月担当の職員が様々な趣向を凝らし、楽しい誕生会を演出した。



『避難訓練』

5月	火災想定	7月	地震想定	9月	不審者想定
11月	火災想定	1月	地震想定	3月	不審者想定

【西恋ヶ窪学童保育所】

①食育活動

『原木椎茸栽培』

4月上旬に原木に植菌作業を行い、子どもが毎日水やりをして育てた。1年かけて大きく育った椎茸の収穫は、自分たちで育てたものなので、子どもたちにとっても感慨深いものとなった。下記の昼食提供時に食べることが出来た。



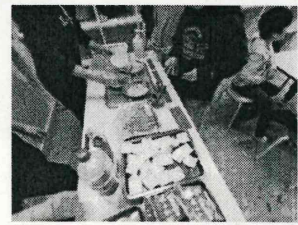
『昼食提供』

学童保育所で昼食を摂る日の内、何日かで、学童保育所で購入した市販の食事を提供した。今年度から職員の手作りの昼食を提供できた。また、お友だちと同じものを食べる楽しみも感じてもらった。食事の購入に当たっては、地域のお店を利用し、子どもからのリクエストも募った。2回目にはバイキング形式でからあげやウインナー、学童保育所で育てた椎茸などを食した。

8月：味噌汁、おにぎり、1月：バイキング

『手作りおやつ』

チョコやアイスを自分で好きなようにトッピングし、ジュースやサイダーも自分で選びお好みに合わせて作るフルーツポンチを提供した。各々自分が食べたいように食べている様子が見られた。



②行事・企画

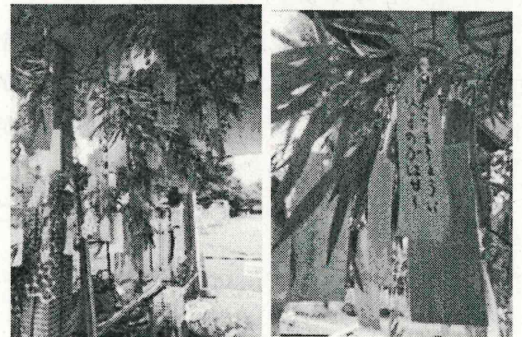
『1年生を迎える会』

4月20日に実施した。1年生は前に出て自己紹介をしてもらった。その後上級生から1年生メダルをプレゼントした。1年生は緊張している様子もあったが、大きい声で発表することができた。



『七夕飾り制作』

小学校の敷地内の竹をいただき、学童保育所の入口に設置した。子どもたちは思い思いの願い事を書いたり、七夕飾りを作成したりして飾り付けた。



『シアターデイ』

体をゆっくりと休めるために夏の長期休み期間にほぼ毎日実施した。育成室の壁にスクリーンを貼り、ミニ映画館を作りDVD鑑賞をした。子どもたちは毎回何が観られるのか楽しみにしている様子があった。

『スライム作り（夏休み工作）』

夏休みの一日保育の時間を使い、一人ずつメモリの付いた入れ物を使い、子どもたちが各自で測り混ぜた。色水と洗濯のりとホウ酸水を入れただけでどんと固まっていき、子どもたちは驚いた様子だった。昨年も実施したため、2・3年生は手際よく作成できていた。また、よく伸びるように今年度はボンドを使用するなどし、2・3年生も楽しめる様に工夫した。

『縁日』

8月上旬から準備を始めた。スーパーボールすくい、射的、くじ引き、消しゴムすくい、ナンバータッチの5つとした。当日登所した子どもたちの中から有志を募ってお手伝いもしてもらった。お店を回る子も、シフト制でお手伝いしてくれた子も楽しそうな様子だった。獲得した景品を嬉しそうに職員に報告して見せてくれたり、子どもたちの表情などから窺えた。



『敬老の日工作』

画用紙に子どもたちの絵やメッセージ、シールを貼ったものを台紙とし、2024年のカレンダーと一緒にラッピング用の袋に入れ、おじいちゃんやおばあちゃん自身でカレンダーを毎月重ねて貼ることができるように準備をした。子どもたちは思い思いに台紙を完成させ、中にはお父さんやお母さん宛てに作成している子もいた。それぞれの気持ちを込めたカレンダーが完成し、保護者の方から連絡帳やお迎え時に好評のお言葉をいただいた。

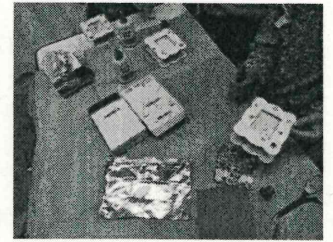
『ハロウィン』

ハロウィン工作としてマント作りを行った。でき上がったマントは育成室に飾り、当日まで雰囲気を作ることができた。当日は4つのブースに分かれ、クイズ、ジャンケン、カボチャが入っているかのゲームを行い、正解した子から順におやつを配っていった。いつものおやつにゲーム要素が加わり、とても楽しいおやつの時間を過ごすことが出来た。



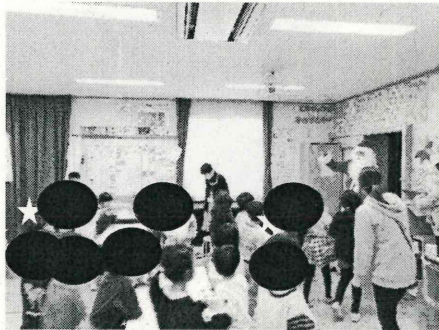
『勤労感謝の日工作』

勤労感謝の日ということで、小物入れ付きの写真たてを制作した。用意された写真たてにシールや毛糸、フェルトなどを使い、また絵を描いて飾りつけをしてもらった。メッセージカードに日頃の感謝の気持ちを書いてもらい一緒にプレゼントした。



『クリスマス会』

事前に司会、お手伝いさん、出し物をしてくれる人を募集し準備を進めてきた。しっかりと会を進行してくれ頼もしい姿が見られた。クリスマスにちなんだうたを手話付きで歌ったが、とても覚えが早く楽しそうに歌ってくれた。子どもたちの出し物では、「ルービックキューブの早合わせ」「マジック」「ダンス」「けん玉」などを披露してくれた。見せる側もしっかり練習してから本番に挑み、みんな大成功だった。見る側もなかなかできないお友だちを「がんばれ!」を応援したり、拍手で盛り上げたりととても良い雰囲気だった。お楽しみでは「ビンゴ」をやり、ビンゴした子からプレゼントをもらいおやつの囲み取りをした。前のめりになって参加する様子が見られた。その後おやつを食べ、片付けをしているところにサンタが登場し子どもたちは大興奮だった。学童保育所へのプレゼントを紹介すると喜びの声がたくさん聞かれ、笑顔溢れる会にすることができた。

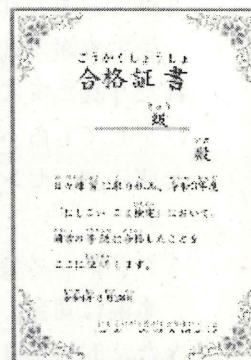


『大掃除』

個人のロッカー拭きと、お友だちと協力し合い、下駄箱掃除、床掃除、窓ふき、机拭き、おもちゃ・本拭きに分かれて大掃除を行い、学童保育所をきれいにした。一度やり始めると気になるようで、その後もきれいに保てるようにしている子もいた。大掃除後は、温かい飲み物をみんなで飲み体を温めた。

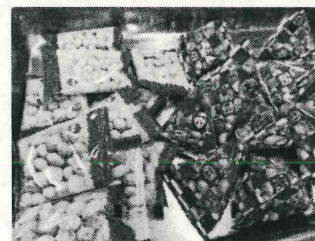
『にしこいこま検定（伝承遊び）』

昨年度に引き続きオリジナルのにしこいこま検定を行った。検定は3月に検定週間を設けて行った。ひもの巻き方も分からず、コマが全く回せなかった子も毎日練習を重ねて技に挑戦できるようになった。そして、今まであまりコマに興味がなかった子も挑戦し、級を取得していた。検定が終わると表彰状を作成し、みんなの前で表彰状を渡した。子どもたちは照れながらも嬉しそうにしていた。



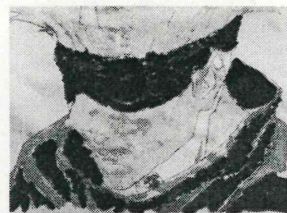
『節分』

インフルエンザ対策として豆まきを行わず、節分に関するクイズを出し、福豆と恵方巻を食べた。全体的に楽しみながら参加することができた。



『卒所制作』

卒所制作として一人ずつ絵柄を考え、砂絵製作を行った。人気のキャラクターを描いている子や、オリジナルの作品を作っている子もいた。気分が乗らない日もあったが、最後まで完成させることができた。三季利用の子は数日で完成させないとならなかったため、今後は別の物も考えておきたい。でき上がった子から学童保育所の玄関に飾り、お迎えに来た保護者の方にも鑑賞していただいた。



『3年生を送る会』

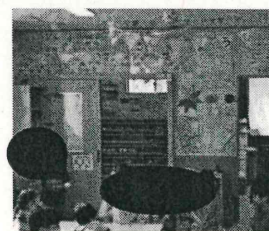
セレモニーと3年生の出し物の2部構成で行った。セレモニーでは、3年生に卒所制作の砂絵とこれから頑張りたいことや学童保育所での思いを発表してもらった。事前に一言発表をすることを伝えていたので、スムーズだった。3年生の出し物では、学童保育所に関するクイズを行った。全員で問題を考えて盛り上がった。また、出し物はダンスやけん玉、ルービックキューブの早解きなど、それぞれの得意なことをみんなの前で発表してくれ3年生を送る会を盛り上げていた。



おやつは保護者の会のご厚意で差し入れていただいた。子どもたちはいつものメニューとは違うため、とても嬉しそうに食べていた。

『誕生会』

毎月、司会担当を2、3人募り、子どもたちに仕切ってもらった。誕生月の子どもが恥ずかしそうに、そして嬉しそうにプレゼントを受け取る姿は毎月感銘を受ける。セレモニーの後は職員がゲームを進行し、体を動かすゲーム、頭を使うゲーム、大型絵本の読み聞かせ等、密にならないよう毎月趣向を凝らし盛り上がっている。おやつの内容もいつもより少し特別なものを提供するなど



して工夫をした。

『避難訓練』

5月：地震想定	7月：不審者想定	9月：火災想定
11月：地震想定	1月：不審者想定	3月：火災想定

(4) 自主事業の実施状況 (別紙【資料3】参照)

【第一・第二東恋ヶ窪学童保育所、第一日吉町学童保育所、西恋ヶ窪学童保育所】

『3学童交流会』

各学童保育所が夏に行った縁日をもとに、3学童保育所の職員で協力し、第五小学校の体育館で3学童まつりを実施した。保育園や幼稚園時代のお友だちと久しぶりに会うことが出来、嬉しそうにしている姿も見受けられた。306名の参加があり、イベントの開催を喜んでくれている声も多く、また実施して欲しいというようなご意見も保護者からいただいたので、今後も続けていけるようにしていきたい。

【第一・第二東恋ヶ窪学童保育所】

『お弁当の日』

学童保育所ごとに実施した。職員がおかずを作り、子どもたちがおかずを詰める作業をして、お弁を詰める大変さを感じた。また、みんなで同じものを食べる楽しさを味わった。

『保護者会おやつ提供』

学童保育所で食べているおやつがどんなものなのか気になる、実際に食べてみたいという保護者からのご意見から実施した。保護者会時に試食会を行った。

【第一日吉町学童保育所】

『お弁当の日』

学童保育所ごとに実施した。職員がおかずを作り、子どもたちがおかずを詰める作業をして、お弁を詰める大変さを感じた。また、みんなで同じものを食べる楽しさを味わった。

『保護者会おやつ提供』

学童保育所で食べているおやつがどんなものなのか気になる、実際に食べてみたいという保護者からのご意見から実施した。保護者会時に試食会を行った。

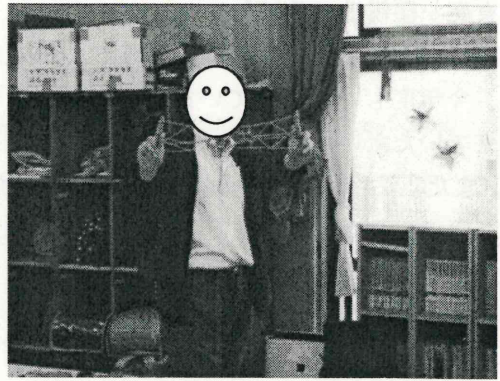
『地域の達人名人に教えてもらおう！(木工作)』

地域で木材を提供してくださる方から、今回は木の枝や木の実など、様々な材料をたくさんいただいた。そのまま飾りたいほどの綺麗な材料を贅沢に使い、子どもたちは勤労感謝の日に向けて送るものを作った。接着のための接着剤や着色以外は極力提供していただいた自然の材料を活かしつつ、子どもたちには材料をふんだんに利用し、自由な発想で作らせた。送る人のことを考えて、メモスタンドにしてみたりとその発想に驚かされるものもあった。木材を提供していただいた方からも、「思い描いていた交流だ」と言っていただけのものだった。



『専門講師による体験行事（あやとり体験）』

国際あやとり協会 ISFA に所属されているインストラクターの方に今年もお越しいただき、伝承遊びのパフォーマンスを鑑賞させていただいた。インストラクターの方にはそれまでも数回お越しいただいており、技術指導を行っていただいた。検定の結果発表のある最終日は表彰式で表彰状の授与をしてもらいながら、子どもたちの努力の成果を見守っていただいたあと、あやとり、けん玉、こままわしのレベルの高い技を披露していただいた。子どもたちはその技を見て、「こんなこともできるんだ」と伝承遊びに更に熱意を燃やしていた。また、インストラクターの方からは検定項目の選定等についても助言をいただき、非常に有意義な交流となった。



『文化施設等での鑑賞・マナー体験会（ピアノ演奏会）』

国分寺市を中心に活躍されているピアノユニットの『Tamama-Duo』のお二人をお招きして、演奏会を催した。今回は体育館での開催ということで、学校のピアノをお借りして、演奏をしていただいた。リトミックも交えたプログラムで子どもたちも楽しそうにしていた。迫力のある演奏に子どもたちは気を逸らすことなく一心に耳を傾けていた。また、子どもたちが知っている曲を中心に構成してくださっており、曲に合わせてリズムをとり楽しく参加していた。



【西恋ヶ窪学童保育所】

『お弁当の日』

学童保育所ごとに実施した。職員がおかずを作り、子どもたちがおかずを詰める作業をして、お弁当を詰める大変さを感じた。また、みんなで同じものを食べる楽しみを味わった。

『保護者会おやつ提供』

学童保育所で食べているおやつがどんなものなのか気になる、実際に食べてみたいという保護者からのご意見から実施した。保護者会時に試食会を行った。

『地域の達人名人に教えてもらおう！（じゃがいも掘り）』

地域の達人ということで、近隣の中村園芸に協力していただき、じゃがいもについて教えてもらい、実際に収穫体験もさせてもらった。掘ったじゃがいもの種類、掘り方などについて教えてもらった。子どもたちは楽しそうに作業をした。掘った2種類のじゃがいもを各自持ち帰り、家で食べてもらった。味比べをした話やどのように料理をして食べたか、保護者からも報告をいただいた。その後中村さんにお礼の手紙を書き、渡しに行った。



（５）親子ひろば事業

【東恋ヶ窪親子ひろば】

４月、８月と三季休業期間以外の、毎週木曜日の午前中に実施した。今年度もいつも来ていただいている親子さんはもちろん、新しく来ていただいたり、里帰りで国分寺市に来ていたりという方がいた。また、ミニ相談会の日に向けてお声掛けをし、たくさんの方に周知した。こっこっこ月間では、手形アートをし、記念になったというお言葉もいただいた。昨年度に比べて利用者の数が増えて来たがそれでもまだまだ少人数のため、工夫が必要である。



【日吉町親子ひろば】

４月、８月と三季休業期間以外の水曜日・木曜日・金曜日の週３日の午前中に実施している。子育て経験があり、地域に在住している職員が、保護者の方の相談に乗り、他の保護者の方たちとも気軽に交流できるのが好評だ。コロナ禍の影響も消え切らない中、地域での子育てになかなか活きた情報を得られない保護者の不安を解消する一助となっている。アンケート等では、保護者の方が職員や他の保護者の方たちに悩みごとを相談できることを筆頭に、おもちゃもたくさんあり、子どもたちも楽しめているとも評価されている。



利用者が過ごすスペースを確保する等、感染症対策は引き続き実施したが、市営の親子ひろばに倣い定員は排した。利用者数は日程や天気にも左右されるが、多い日にはコロナ禍以前に匹敵する活況を見せた。そんな中でも、感染症対策として取り入れていた工夫が功を奏し、混雑しているような雰囲気はなく、利用者の親子は皆のびのびと遊ぶことができていた。

毎月のイベントとしては、「ひよっこの日」「ひよっこ TIME」「ひーちゃんの日」「あすか先生の日」がある。「ひよっこの日」は、季節の工作を始め、パネルシアター、大型絵本の読み聞かせ、手形・足形制作と、月替わりで様々な行事をしている。幼児が楽しめるもの、保護者が楽しめるもの、成長の記録となるものと、毎月狙いを変えて企画している。「ひよっこ TIME」は０歳児を中心とした乳児に利用を限定する日だ。人数制限もあり、普段は訪れにくい０歳児を連れた保護者の方たちの交流の場として盛況を博している。「ひーちゃんの日」には第一日吉町学童保育所の利用者である理学療法士の方が、同じく「あすか先生の日」には整体師の方が、ボランティアで訪れて下さっている。これらはボランティアの方のご厚意により企画されている行事であるため、今年度は開催されない月もあったが、どちらのイベントも、専門知識に裏打ちされた心と身体を健康に保つ方法の教授や育児相談が好評で、多くの方が訪れている。



特別なイベントとしては、柳澤正敏さんによる「エプロンシアターの日」、『Tamama-Duo』のお二人による「音楽の日」も、引き続き開催し、好評を博した。「音楽の日」は2回開催し、より多くの方がイベントに参加できるように配慮した。また、「親子ひろばキャラバン」にも参加して、新たな利用者を得られるようアピールした。

親子ひろばに訪れていた子どもたちが、その後学童保育所に入所したということもある。親子ひろばの職員は学童保育所の保育にも従事することがあり、親子ひろばと学童保育所は連続した事業ともなっている。親子ひろばは、保育園入園前の幼児と保護者の方たちにとって、貴重な遊びと交流の場であり、地域の中で頼れる存在となるよう運営している。令和6年度からは、第二第三日吉町学童保育所に会場が変わることとなった。新しい会場でも利用者に心地いい空間を提供するために、より適切な環境を用意すべく、職員たちは日々頭を捻り、着々と準備を整えている。



2. 決算状況等及び施設の利用実績（決算収支状況、公の施設の利用実績（利用者数、利用率等））

（1）決算状況（別紙【4-1】【4-2】【4-3】参照）

（2）利用実績

【第一・第二東恋ヶ窪学童保育所】

①保育日数

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	24日	20日	4日	10月	25日	21日	4日
5月	24日	20日	4日	11月	24日	20日	4日
6月	26日	22日	4日	12月	24日	20日	4日
7月	25日	20日	5日	1月	23日	19日	4日
8月	26日	22日	4日	2月	23日	19日	4日
9月	24日	20日	4日	3月	25日	20日	5日

②登録児童数

第一	1年	2年	3年	その他	計
4月	28	30	34	1	93
5月	28	30	32	1	91
6月	28	30	32	1	91
7月	28	30	31	1	90
8月	28	30	31	1	90
9月	29	32	31	1	93
10月	29	32	31	1	93
11月	29	32	31	1	93
12月	30	31	31	1	93
1月	29	31	31	1	92
2月	29	29	30	1	89
3月	29	29	29	1	88
第二	1年	2年	3年	その他	計
4月	27	22	21	1	71
5月	27	22	20	1	70
6月	27	22	20	1	70
7月	27	22	20	1	70
8月	28	22	21	1	72
9月	29	23	23	1	76
10月	31	23	22	1	77
11月	31	23	19	1	74
12月	31	23	17	1	72

1 月	31	23	16	1	71
2 月	31	23	16	1	71
3 月	31	23	16	1	71

③保育日数×登録児童数

第一	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4 月	2232	1860	372	10 月	2325	1953	372
5 月	2184	1820	364	11 月	2232	1860	372
6 月	2366	2002	364	12 月	2232	1860	372
7 月	2250	1800	364	1 月	2116	1748	368
8 月	2340	1980	360	2 月	2047	1691	356
9 月	2232	1860	372	3 月	2200	1760	440
第二	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4 月	1704	1420	284	10 月	1925	1617	308
5 月	1680	1400	280	11 月	1776	1480	296
6 月	1820	1540	280	12 月	1728	1440	288
7 月	1750	1400	350	1 月	1633	1349	284
8 月	1872	1584	288	2 月	1633	1349	284
9 月	1824	1520	304	3 月	1775	1420	355

④出席児童数

第一	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4 月	1214	1198	16	10 月	1025	1008	17
5 月	1112	1107	5	11 月	968	953	15
6 月	1202	1192	10	12 月	970	955	15
7 月	1099	1086	13	1 月	874	860	14
8 月	1061	1048	13	2 月	824	811	13
9 月	1002	984	18	3 月	917	904	13
第二	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4 月	1038	1029	9	10 月	941	934	7
5 月	997	990	7	11 月	958	949	9
6 月	1072	1061	11	12 月	892	884	8
7 月	1079	1067	12	1 月	821	809	12
8 月	890	879	11	2 月	761	751	10
9 月	941	933	8	3 月	953	937	16

⑤出席率

第一	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4 月	54.39	64.41	4.30	10 月	44.09	51.61	4.57

5 月	50.92	60.82	1.37	11 月	43.37	51.24	4.03
6 月	50.80	59.54	2.75	12 月	43.46	51.34	4.03
7 月	48.84	60.33	3.57	1 月	41.30	49.20	3.80
8 月	45.34	52.93	3.61	2 月	40.25	47.96	3.65
9 月	44.89	52.90	4.84	3 月	41.68	51.36	2.95
第二	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4 月	60.92	72.46	3.17	10 月	48.88	57.76	2.27
5 月	59.35	70.71	2.50	11 月	53.94	64.12	3.04
6 月	58.90	68.90	3.93	12 月	51.62	61.39	2.78
7 月	61.66	76.21	3.43	1 月	50.28	59.97	4.23
8 月	47.54	55.49	3.82	2 月	46.60	55.67	3.52
9 月	51.59	61.38	2.63	3 月	53.69	65.99	4.51

【第一日吉町学童保育所】

①保育日数

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	24日	20日	4日	10月	25日	21日	4日
5月	24日	20日	4日	11月	24日	20日	4日
6月	26日	22日	4日	12月	24日	20日	4日
7月	25日	20日	5日	1月	23日	19日	4日
8月	26日	22日	4日	2月	23日	19日	4日
9月	24日	19日	4日	3月	25日	20日	5日

②登録児童数

	1年	2年	3年	その他	計
4月	15	29	30	0	74
5月	16	31	30	0	77
6月	16	31	29	0	76
7月	16	30	28	0	74
8月	18	31	30	0	79
9月	18	31	27	0	76
10月	18	31	26	0	75
11月	18	31	22	0	71
12月	19	29	19	0	67
1月	19	29	19	0	67
2月	20	29	19	0	68
3月	19	28	19	0	66

③保育日数×登録児童数

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	1、824	1、520	304	10月	1、875	1、575	300
5月	1、848	1、540	308	11月	1、704	1、420	284
6月	1、976	1、672	304	12月	1、608	1、340	268
7月	1、875	1、500	375	1月	1、541	1、273	268
8月	2、054	1、738	316	2月	1、564	1、292	272
9月	1、824	1、520	304	3月	1、650	1、320	330

④出席児童数

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	907	887	20	10月	922	907	15
5月	946	941	5	11月	792	773	19
6月	1、016	999	17	12月	821	801	20

7 月	958	938	20	1 月	742	731	11
8 月	902	887	15	2 月	759	745	14
9 月	762	749	13	3 月	835	818	17

⑤出席率

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4 月	49.73	58.36	6.58	10 月	49.17	57.59	5.00
5 月	51.19	61.10	1.62	11 月	46.48	54.44	6.69
6 月	51.42	59.75	5.59	12 月	51.06	59.78	7.46
7 月	51.09	62.53	5.33	1 月	48.15	57.42	4.10
8 月	43.91	51.04	4.75	2 月	48.53	57.66	5.15
9 月	41.78	49.28	4.28	3 月	50.61	61.97	5.15

【西恋ヶ窪学童保育所】

①保育日数

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	23日	20日	3日	10月	25日	21日	4日
5月	24日	20日	4日	11月	23日	20日	3日
6月	26日	22日	4日	12月	24日	20日	4日
7月	25日	20日	5日	1月	23日	19日	4日
8月	26日	22日	4日	2月	22日	19日	4日
9月	24日	20日	4日	3月	25日	20日	5日

②登録児童数

	1年	2年	3年	その他	計
4月	49	37	16	0	102
5月	50	40	16	0	106
6月	50	40	16	0	106
7月	50	40	16	0	106
8月	50	40	16	0	106
9月	49	39	17	0	105
10月	48	41	19	0	108
11月	48	41	19	0	108
12月	47	38	19	0	104
1月	46	36	18	0	100
2月	46	34	18	0	98
3月	46	35	17	0	98

③保育日数×登録児童数

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	2346	2040	306	10月	2700	2268	432
5月	2544	2120	424	11月	2484	2160	324
6月	2756	2332	424	12月	2496	2080	416
7月	2650	2120	530	1月	2300	1900	400
8月	2756	2332	424	2月	2254	1862	392
9月	2520	2100	420	3月	2450	1960	490

④出席児童数

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	1488	1471	17	10月	1482	1466	16
5月	1482	1466	16	11月	1190	1183	7

6 月	1482	1466	16	12 月	1266	1251	15
7 月	1482	1466	16	1 月	1020	1012	8
8 月	1482	1466	16	2 月	1069	1055	14
9 月	1482	1466	16	3 月	1177	1161	16

⑤出席率

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4 月	63.43	72.11	5.56	10 月	54.89	64.64	3.70
5 月	58.25	69.15	3.77	11 月	47.91	54.77	2.16
6 月	53.77	62.86	3.77	12 月	50.72	60.14	3.61
7 月	55.92	69.15	3.02	1 月	44.35	53.26	2.0
8 月	53.77	62.86	3.77	2 月	47.43	56.66	3.57
9 月	58.81	69.81	3.81	3 月	48.04	59.23	3.27

3. 従事者育成に係る研修実績報告

(別紙【資料5】参照)

4. 利用者意見及び自己評価(利用者アンケート調査結果、事業実施状況自己評価)

※事業実施状況自己評価は別紙【資料6】参照

【第一・第二東恋ヶ窪学童保育所】

①利用者アンケート調査結果

指摘された点

- ・4年生も利用したいです。プールもなく校庭も狭いのでけやき公園などに連れ出してほしいです。
- ・今後も学童入所者が増えると確実視される中で、収容人数と建物広さのアンバランスさが大きすぎると思う。
- ・コロナやインフルも学校内より学童内で多く発生し、それが学校に広がっていると教師から聞いている。何らかの対応を早急に進めて欲しい。
- ・部屋がもう少し広いといい。かない狭いので…
- ・自治体によっては、学童でなくても、学校から帰ることなく、そのまま学校で遊べるプランがあるところもあります。放課後子どもプランはありますが、家が学校から遠いので一度帰宅したらとても学校まで歩いていけません。4年生以降も学童でなくていいので、帰宅せずに学校で遊べるようにしてほしいです。
- ・学童保育所に子どもを迎えに行くことがないので、職員の方とお話する機会がありません。友だちとの関わりや楽しんでいるかなどわかりません。週又は月に一回程度、定期的に子どもがどのように学童で過ごしているのか連絡帳などでご連絡していただくと安心できます。
- ・新校舎建設が進められているが、圧倒的にスペースが狭い。また児童数も多く、職員の方の負担が過大となっているのではないかと心配になります。子どもは楽しんでいる様子ですが“そういうもの”だとはじめから思っているのも、また分散など配慮いただいていることも聞いており、工夫に助けられていると理解しています。
- ・学童とはいえ1年生の場合はまだ不安が大きく、また働く親の場合フルタイムで通勤に1時間以上かかる場合、朝8:00～夜19:00は遅くて、早いです。保育園の方が手厚く、前後1時間長いのですが、子どもをなるべく1人にしないように開所時間はできるだけ長い方がありがたいです。

評価された点

- ・夏休みはエコバッグ作りやおべんとうの日など、普段とは違うイベントもたくさんあり、楽しんでいます。
- ・施設が古く、子どもの人数に対して狭く、さらに工事の為校庭が使えない状況で、工夫して保育をしてくださり感謝しています。
- ・お迎えの際など、短い時間に子どもについてお話して下さることもあり、よく見ていただいていると感じます。
- ・連絡帳にその日の子どもの様子(遊んだこと・食べたもの等)細かく書いてくださっています。おかげで子どもがどのように過ごしているかがよく分かり安心します。電話対応も感じよく、話しやすいです。
- ・今までできなかった年中行事も少しずつ戻っていて、子どもの楽しみとなっています。

考察

狭隘状況やスペースのことは毎年課題に挙がっている。今年度も学校にご協力していただき、多目的室をお借りし、分散保育を行った。遊べるおもちゃに偏りが出てしまうため、夏休み以降は全学年で順番に分散保育を行った。分散を行えば、学童保育所の定員 88 人は守ることが出来ていた。ただし、夏休みなどは教室をお借りすることが難しく、分散できなかった日もあるため、やはり何か対策を取らないといけないと感じる。

日々の子どもの様子についても連絡帳記載をして欲しいなどの意見もあるが、160 名を超えるご家庭が登録していて、毎日 100 名以上の子どもたち登所しているため、全家庭に連絡帳での様子の記載は難しいため、保護者会の内容を工夫して参加人数を増やしたり、毎月のおたよりの内容で伝わるような工夫が必要である。またお迎えに来られる方には、職員間で子どもたちの様子を共有し、どの職員が対応しても子どもたちの学童保育所での様子をお伝え出来るように心掛けていく。

【第一日吉町学童保育所】

①利用者アンケート調査結果

指摘された点

- ・トイレをきれいにしてほしい。
- ・トイレが汚い。
- ・トイレが男女同じで、トイレをがまんしているようです。
- ・トイレが共同なので子どもたちがかわいそう。
- ・トイレの数が足りない。
- ・お手洗いの改修はぜひ早めて進めて欲しいです。
- ・長期休みのお弁当を検討してほしい。
- ・昼食提供があるととても助かります。
- ・施設の老朽化、スペースに対する子どもの人数には不安を感じる。
- ・施設が古くなってきているので、建て替え検討をお願いします。
- ・全体的に古い。
- ・子どもが行きたくないと渋ることが多い。
- ・暑さもあり、狭い部屋でギュウギュウに多人数で過ごすことが多い…等々、家でゆっくり過ごしたいと訴えていました。
- ・やはり人数に対して広さが足りないように思います。
- ・第二第三学童の施設と違いすぎる。すぐに改修してほしい。
- ・給与など待遇の面でも改善すれば、人材も集まるのではないか。

評価された点

- ・季節に合うものの製作やイベント企画、いつ準備をしてくださっているのかなと頭が下がります。
- ・とても楽しく過ごしているようで運営に感謝している。
- ・子どもは楽しんで通っているので、安心して通わせることが出来ているのでありがたいです。
- ・他の学童保育所を利用していないので比較対象がありませんが、現在の学童保育所に大変満足と日々の保育に感謝しております。
- ・心を開いて安心して学童で生活していると思います。
- ・内気な性格と皆さんと利用時間が少し異なるため、あまり行事などには参加が出来ていないのですが、職員の皆さんがしっかりと居場所として意識した関りをして下さり、ありがたく思っています。
- ・職員の皆様は本当に良くしてくださり、少しの時間の関りでもよく見て覚えていただけているなと感心しています。コロナ等、大変な中で子ども達のためを想い企画運営して下さい本当に感謝しています。
- ・先生方にはとてもよくしていただいています。
- ・職員の方と連絡を取り、子どもを安心して通わせています。令和6年で指定管理者の更新がありますが、子ども達の先生への信頼度や先生が変わることで不安を感じる可能性があるのでは、引き続き現在の管理者（ワーカーズコープ）に管理を続けて欲しいです。
- ・この2年間で得た信頼感や安心感は大きいと思いますし、仕事の為、遅く迄預けている親にとっても同様です。なるべく、出来るならこのまま存続して欲しいと思っています。

- ・職員の方にも慣れて安心して過ごしているので（親も子も）来年も運営会社の変更はしないでほしいです。
- ・1年生の頃は家までの道が不安で職員の方が家の前まで付き添ってくださった事、3年生になってからは学童よりも家で過ごしたい日も多くなり、急な予定変更にも対応して下さった事。成長過程に応じた保育にとっても助かりました。

考察

今回のアンケートでも指摘された点は、トイレの環境改善を求める声が圧倒的に多かった。毎日掃除をしても老朽化に関しては対処が難しいが、昨年に引き続きキャラクターのイラストを壁に張ったり、芳香剤を置いたりなど、少しでも悪印象を払拭できるよう努めている。また、冬場は便座カバーを使用し、冷たさを軽減する対応をした。職員の中でも時間を作り、壁のヒビ補修のためのコーキング作業や天井の玉カビの除去など小さなことではあるが少しでも改修までの期間に気持ちよく過ごせるように現場でできる範囲の努力は続けている。また、来年度はついに改修工事が入るため、実際に建築担当の方に現場を見に来てもらい、具体的な工事予定などの話が進んでいる。

施設についても、第二・第三日吉町学童保育所が開所したことで狭隘状況に関しては解消されたが、子どもたちの中にはそれでもまだスペースに対する窮屈感を感じてしまうという意見も寄せられた。また、保護者の方の中には施設に差がありすぎることに、施設の老朽化を心配する声があった。

長期休みのお弁当の検討、昼食提供を希望する声があった。第一日吉町学童保育所では長期休み期間に一回ずつ昼食提供を行った。少しでも保護者の負担の軽減につながるように企画をしている。第二・第三日吉町学童保育所では配食サービスを実施していたので、その差を埋められるように第一日吉町学童保育所でも配食サービスの実施を目指す。

子どもが行きたくないと感じることが多いという意見が1件あったことに対して学童保育所としては子どもたちの様子を日々観察し、保護者の方からの情報や相談に基づいたものはもちろん、職員同士の話し合いの中で挙がった子どもたちの気になる様子や関係性については、全職員で共有し、よい方向へ導けるように声掛けや関わり方を考えながら見守りをおこなった。

評価された点については、保育の質を落とすことなく、今後も保育に活かしていきたい。アンケートのみではなく、お迎え時や電話、連絡帳を通して伝えてくださる保護者の声を大切に、児童と保護者をなによりも優先した対応をしていくよう努めていきたい。

【西恋ヶ窪学童保育所】

①利用者アンケート調査結果

指摘された点

- ・連絡帳に記載があったものに目を通していないことがあったのでないようにしてほしい。
- ・宿題を全くやってこない。
- ・夏休み中はずっと室内遊びでいくのを嫌がっていた。水遊びなど企画がもう少しあったらと思います。
- ・人数が多いので長期休業期間等は施設建物の狭さが気になります。
- ・職員の人数が少なく職員に負担が多くないか心配。
- ・定員に対して受け入れ人数が多すぎてスペースの点が心配。学校の教室を使えないか。
- ・おやつはスナック菓子やアイスだけでなくおにぎりなど体に良いものをもっと出して欲しい。
- ・長期休業期間が7:45から登所出来るとありがたい。
- ・休みの連絡に時間がかかるのでネットでも出来るようにしてほしい。
- ・夏休みは朝の涼しい時に外に行き学習を午後にする、ミストを付けるなどの工夫をしてほしい。
- ・保育園には7時登園して出勤していた為働き方を変えないといけない。学童は7時開所、そのまま登校できるようになってほしい。
- ・学年閉鎖の時にこそ学童に子どもを行かせたいのに長期になると働けない。そういう時の子どもの居場所になってくれることを願う。
- ・連絡帳に一週間前から休みの記載をしていたのに休み確認の電話があった。伝達が出来ているのか不安。

評価された点

- ・お迎えの時様子を聞かせてくれている
- ・校庭遊びをきちんと見守ってもらえている。
- ・土曜保育など人数が少ない日でもよく保育してくれている

考察

連絡帳係はその業務に集中できるように周りが電話連絡を引き受けるなどのサポートを強化し、一週間前からの連絡も出席簿に転記し、月を跨ぐ時などはコピーを取るなどして漏れが無いようにする。

登所後には全体へ宿題に取り組むよう声がけを徹底する。

夏休みには室内遊び中のイベントを来年度は増やしていき、学習時間の変更で外遊びの時間が増やせるかどうか検討する。

評価いただいた点に関しては、今後の参考にし、より良い保育ができるよう職員間で話し合い活かしていきたい。

5. 苦情対応に係る記録

【第一・第二東恋ヶ窪学童保育所】

今年度、施設運営に直接関わる苦情はなかった。

詳細は別紙【資料 7-1】参照。

【第一日吉町学童保育所】

今年度、施設運営に直接関わる苦情はなかった。

詳細は別紙【資料 7-2】参照。

【西恋ヶ窪学童保育所】

今年度、施設運営に直接関わる苦情はなかった。

詳細は別紙【資料 7-3】参照。

6. 事業計画書に掲載した計画の実施状況

5月よりコロナ感染症が5類となり、コロナ感染症前に実施していた行事をやった一年となった。また、放課後子どもプランとの共催行事や保護者会、自主事業の行事なども出来るだけ実施し、保護者からの声にこたえようと、自主事業も計画よりも増やした。

手作りおやつ、手作り昼食は久しぶりに実施することができ、子どもたちもコロナ禍で体験したことがない子たちだったため、とても喜んで食べていた。

以前のように手作り昼食の回数を増やすことが出来ない代わりに長期休業の期間に昼食提供を行い、保護者の負担を少しでも減らせるようにした。また、お友だちと同じものを食べる喜びも感じられる場の提供を行った。

どの学童保育所も定員を超えてきてしまっていることもあり、特に東恋ヶ窪学童保育所ではほぼ毎日分散保育を行った。利用者が安心して安全に預けられる学童保育所を目指し、職員間でも日々のミーティングや月1回の職員会議で情報共有を大事にした。

7. その他管理の実態を把握するために必要な事項等

(1) 各種会議への参加

国分寺市主催の会議は必ず出席し、国分寺市の各PTの会議へ各担当が出席した。また、当法人の様々な会議にも参加し、他自治体の現場の様子や実践などを聞く機会があり、現場に持ち帰りより良い運営に努めた。その他にも他現場の事故報告を共有し、リスクマネジメントを意識し保育に活かしている。

(2) 児童在籍学校との連携

各学童保育所と学校の校長先生、副校長先生と年度初めに挨拶をし、学校のルールや校庭の使い方などの共有をした。担任の先生と児童の情報共有を行い、日々の保育の中で役立てるように努めた。分散保育が必要な時には学校と連絡を取り合い、空き教室や体育館をお借りし、より良い保育をすることができた。

(3) 関連機関との連携

国分寺市子ども子育て支援課のエリア館長とは密に連絡を取り、いつでも安心して相談ができた。

子ども家庭支援センターの方と気になる児童について情報共有を行った。また、親子ひろば事業でも連携している。

小金井警察の方に来ていただき、不審者想定避難訓練を行い指導していただいた。また、子どもたちからの素朴な疑問にも答えていただくなど、とても良い経験をさせていただいた。

放課後子どもプランのコーディネーターの方と定期的に会議を行い、共催の行事を企画し、実施することが出来た。

【資料1】

令和5年度 職員名簿

名簿作成日

令和5年3月31日

施設名 第一東恋ヶ窪学童保育所

指定管理者名

労働者協同組合ワークスコープ・センター事業団

No.	職員名	生年月日	住所	責任者※1	常勤/非常勤	職名	加配児専任職員	勤務形態			職務の内容	配属年月日	放課後児童支援員の資格要件※2		主な経歴
								雇用	給与	勤務時間			条例第10条第3項	認定資格研修 終了年度	
1	飯田 佐和			運営責任者	常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
2					常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
3					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
4					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
5					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
6					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
7															
8															
9															
10															

※1 統括責任者、運営責任者、防火管理者などを記入すること

※2 基礎資格を証する書類や放課後児童支援員認定資格研修修了証の写しを添付すること

※3 年度途中で職員体制等に変更等が生じた場合には、改めて提出すること

【資料1】

令和5年度 職員名簿

名簿作成日

令和5年3月31日

施設名 第二東恋ヶ窪学童保育所

指定管理者名

労働者協同組合ワークスコープ・センター事業団

No.	職員名	生年月日	住所	責任者※1	常勤/非常勤	職名	加配児専 任職員	勤務形態			職務の内容	配属年月日	放課後児童支援員の資格要件※2		主な経歴
								雇用	給与	勤務時間			条例第10条第3項	認定資格研修 終了年度	
1	吉田若菜			統括責任者	常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
2				防火管理者	常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
3					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
4					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
5					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	フルタイム	育成支援 障害児保育				
6					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
7					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
8															
9															
10															

※1 統括責任者、運営責任者、防火管理者などを記入すること

※2 基礎資格を証する書類や放課後児童支援員認定資格研修修了証の写しを添付すること

※3 年度途中で職員体制等に変更等が生じた場合には、改めて提出すること

【資料1】

令和5年度 職員名簿

名簿作成日

令和6年3月19日

施設名 第一日吉町学童保育所

指定管理者名

労働者協同組合ワークスコープ・センター事業団

No.	職員名	生年月日	住所	責任者※1	常勤/非常勤	職名	加配児専 任職員	勤務形態			職務の内容	配属年月日	放課後児童支援員の資格要件※2		主な経歴
								雇用	給与	勤務時間			条例第10条第3項	認定資格研修 終了年度	
1	笹原 寛成			運営責任者	常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
2				防火管理者	常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
3					常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
4					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
5					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
6					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
7					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
8					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
9					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
10															

※1 統括責任者、運営責任者、防火管理者などを記入すること

※2 基礎資格を証する書類や放課後児童支援員認定資格研修修了証の写しを添付すること

※3 年度途中で職員体制等に変更等が生じた場合には、改めて提出すること

【資料1】

令和5年度 職員名簿

名簿作成日

令和5年3月31日

施設名 西恋ヶ窪学童保育所

指定管理者名

労働者協同組合ワークスコープ・センター事業団

No.	職員名	生年月日	住所	責任者※1	常勤/非常勤	職名	加配児専 任職員	勤務形態			職務の内容	配属年月日	放課後児童支援員の資格要件※2		主な経歴
								雇用	給与	勤務時間			条例第10条第3項	認定資格研修 終了年度	
1	小林 麻耶			運営責任者/防火管理者	常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
2					常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
3					常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
4					常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
5					非常勤	放課後児童支援員		パート	時給	短時間	育成支援				
6					非常勤	放課後児童支援員		パート	時給	短時間	育成支援				
7					非常勤	放課後児童支援員		パート	時給	短時間	育成支援				
8															
9															
10															

※1 統括責任者、運営責任者、防火管理者などを記入すること

※2 基礎資格を証する書類や放課後児童支援員認定資格研修修了証の写しを添付すること

※3 年度途中で職員体制等に変更等が生じた場合には、改めて提出すること

企画事業年間報告書(第一・第二東恋ヶ窪学童保育所)

指定業務である放課後児童健全育成事業に関する業務のなかで指定管理費により企画実施する事業(イベントその他)

学童保育年間事業報告

月	名 称	内 容
4月	新入生歓迎会	歌を歌い、新入所児にプレゼントを渡し、みんなで新入所児を迎え入れた。
5月	避難訓練(不審者)	不審者を想定して避難訓練を行った。
6月	七夕飾り制作 保護者会	七夕に向けて、短冊や七夕飾りを作成した。 7月に実施した。
7月	夏休み工作 大掃除 保護者会 放課後子どもプランとの共催 昼食提供 避難訓練(地震)	8月に実施した。 1学期の区切りとして学童保育所をきれいにした。 子どもたちの日々の様子を伝えると共に情報を交換した。 低学年と全学年の二部制で水鉄砲で遊んだ。 日々忙しい保護者に代わり、昼食提供を行った。(からあげ弁当) 地震を想定して避難訓練を行った。
8月	手作りおやつ 縁日 シアターデイ 夏休み工作 昼食提供	職員の手作りのゼリーを使い、パフェを作って食べた。 子どもたちと夏祭りを開催し、夏の思い出を作った。 みんなで同じ映画を見て楽しみながら体を休めた。 ステンシルでエコバッグを制作した。 日々忙しい保護者に代わり、昼食提供を行った。(からあげ弁当)
9月	敬老の日工作 避難訓練(火災) マジックを楽しもう	祖父母に対して感謝を込めてしおりを作った。 火災を想定して避難訓練を行った。 地域で活動されている方に来ていただき、マジックショーを楽しんだ。(1年生)
10月	ハロウィン工作 ハロウィン しいたけ収穫 マジックを楽しもう	ハロウィンに向けた衣装づくりを行い、楽しんだ。 自分たちで作った衣装を身に付け、校庭でハロウィンに因んだクイズラリーを楽しんだ。 自分たちで栽培したいたけを収穫し、持ち帰って食べてもらった(食育)。 地域で活動されている方に来ていただき、マジックショーを楽しんだ。(2・3年生)
11月	勤労感謝の日工作 避難訓練(地震)	働いている方に対して感謝を込めてペン立ての制作をした。 地震を想定した避難訓練を行った。
12月	クリスマス制作 クリスマス会 大掃除 昼食提供	クリスマスキャンドルの制作をした。 クリスマス会をみんなで楽しんだ。 2学期の区切りとして学童保育所をきれいにした。 日々忙しい保護者に代わり、昼食提供を行った。(からあげ弁当)
1月	伝承遊び	手作りの風やコマ以外にも福笑いやカルタ、ぼうずめくりなどの伝承遊びに触れた。
2月	節分 卒所制作 保護者会 避難訓練(火災)	エアで豆まきを行い、恵方巻きを食べて、節分に関する話をした。節分に関する読み聞かせも行った。 卒所児が学童保育所へカレンダーを制作をした。在所児は卒所児へオリジナルラックの制作をした。 小学校の学級閉鎖に伴い、開催方法を変更して実施した。日々の子どもの様子の写真や作品・人気のおもちゃの展示を行った。 火災を想定した避難訓練を行った。
3月	工作週間(プラバン) ありがとうの会(卒所生を送る会) 避難訓練(不審者) 大掃除 しいたけ植菌	令和6年4月に入所する新入生にプレゼントするプラバン制作をした。 1年間の交流に感謝し、みんなで卒所生をお祝した。 小金井警察の方に来ていただき、不審者を想定した避難訓練を行った。 3学期の区切りとして学童保育所をきれいにした。 来年度のために植菌をし、それについて学ぶ(食育)。担当業者と日程が合わず令和6年4月に延期した。

誕生会(毎月):誕生児をみなでお祝した。

【資料2】

企画事業年間報告書(第一日吉町学童保育所)

指定業務である放課後児童健全育成事業に関する業務のなかで指定管理費により企画実施する事業(イベントその他)

学童保育年間事業報告

月	名 称	内 容
4月	新入生歓迎会	新入所児をみんなで迎え入れ、新一年生による自己紹介や合唱、二・三年生からのプレゼント渡しを行った。
5月	子ども会議	子どもたち主体で学童保育所での過ごし方を考えてもらい、各自で責任を持ちながら過ごした。
6月	七夕飾り制作 買い物おやつ 老人ホーム訪問	七夕に向けて、短冊や七夕飾りを作成した。 お菓子を買い、買い物体験をした。 地域交流をし、相手を思いやる気持ちを育んだ。
7月	夏休み工作 保護者会	8月に実施した。 日々の子どもの様子を共有し、保護者同士の交流の場となった。
8月	縁日 シアターデイ 老人ホーム訪問 夏休み工作 昼食提供	子どもたちと夏祭りを開催し、夏の思い出を作った。 映画を見て楽しみながら体を休めた。 6月に実施した。 夏に因んだ工作をした。 保護者の負担を減らす目的として昼食を提供した。
9月	敬老の日によせて	祖父母のことを考えながら、プレゼントを作った。
10月	ハロウィンお楽しみ会 買い物おやつ しいたけ収穫	ハロウィンに向けた衣装づくり、おやつやゲームを通して友だちと交流をした。 お菓子を買い、買い物体験をした。 自分たちで栽培したしいたけを収穫した。(食育)
11月	勤労感謝の日によせて	毎日一緒に生活している家族のためにプレゼントを制作した。
12月	クリスマス制作 クリスマスお楽しみ会 大掃除 昼食提供	クリスマスに因んだ制作をした。 ゲームやおやつ、プレゼントを通して楽しんだ。 1年間使用した部屋をきれいにした。 保護者の負担を減らす目的として昼食を提供した。
1月	伝承遊び	伝承遊びを子どもたちに伝え親しんでもらい、上達する楽しさを味わってもらった。
2月	節分 買い物おやつ 保護者会	節分とは何か伝え、豆まきや恵方巻を食べた。 お菓子を買い、買い物体験をした。 進級を控える子どもたちの日々の様子を伝えた。
3月	しいたけ植菌 卒所生を送る会・卒所制作 所外保育	来年度のために植菌をし、それについて学ぶ(食育)。担当業者と日程が合わず令和6年5月に延期した。 進級と卒所を意識しながら思い出を作った。 日程が合わず中止。

誕生会(毎月):誕生児をみんなでお祝いした。

避難訓練(隔月):災害時等に自分の身を自分で守れるように訓練した。

【資料2】

企画事業年間報告書(西恋ヶ窪学童保育所)

指定業務である放課後児童健全育成事業に関する業務のなかで指定管理費により企画実施する事業(イベントその他)

学童保育年間事業報告

月	名 称	内 容
4月	新入所歓迎会 しいたけ植菌	新入所児をみんなで迎え入れた。 しいたけ栽培のために植菌をし、それについて学んだ。 (食育)
5月		
6月	七夕飾り制作	七夕に向けて、短冊や七夕飾りを作成をした。
7月	夏休み工作 保護者会	夏に因んだ工作をした。 子どもたちの日々の様子を伝えると共に情報を交換した。
8月	縁日 シアターデイ	子どもたちと夏祭りを開催し、夏の思い出を作った。 映画を見て楽しみながら体を休めた。
9月	敬老の日	祖父母に対して手紙を書いた。
10月	ハロウィン しいたけ収穫	ハロウィンに向けた衣装づくりを行い、楽しんだ。 自分たちで栽培したしいたけを収穫した。(食育)
11月	勤労感謝の日	働いている人に対して感謝の気持ちを形にした。
12月	クリスマス制作 クリスマス会 大掃除	クリスマスに因んだ制作をした。 クリスマス会で出し物をして楽しんだ。 普段使っている物をみんなで掃除した。
1月	伝承遊び	伝承遊びを子どもたちに伝え親しんでもらい、上達する楽しさを味わってもらった。
2月	節分 卒所制作 保護者会	節分の意味を知る。 卒所児が作品を制作をした。 進級を控える子どもたちの日々の様子を伝えた。
3月	3年生を送る会	3年生の卒所をみんなで祝った。

誕生会(毎月):誕生児をみんなでお祝いした。

避難訓練(隔月):災害時等に自分の身を自分で守れるように訓練した。

【資料3】

令和5年度自主事業実施状況一覧

No.	事業名称(※1)	事業計画の有無と時期	事業内容	実施施設	実施の有無と時期	参加人数	収入	支出	未実施の理由・今後の方針(※2)
1	3学童保育所合同行事	有 日曜日または祝日	各学童保育所で夏休みに行く縁日の出し物を持ち寄り、お祭りを行った。	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	有 2023.12.3	306人	0円	54,664円	
2	お弁当の日	有 年1回	学童保育所が用意したおかずを各自が持参したお弁当箱に詰めた。	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所	有 2023.8.17	99人	0円	39,956円	
3	お弁当の日	有 年1回	学童保育所が用意したおかずを各自が持参したお弁当箱に詰めた。	第一日吉町学童保育所	有 2024.3.25	51人	0円	15,139円	
4	お弁当の日	有 年1回	学童保育所が用意したおかずを各自が持参したお弁当箱に詰めた。	西恋ヶ窪学童保育所	有 2024.1.9	67人	0円	33,369円	
5	卒所生を招いたお楽しみ行事	有 長期休暇期間が振替休日等の一日保育時	3学童保育所合同行事に卒所生も招き楽しんでもらった。卒所生の内3名は中学生であったため、事前に相談し当日にお店の方の手伝いもしてもらった。	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	有 2023.12.3	20人	0円	0円	
6	保護者会おやつ提供	無 年1回	学童保育所で食べているおやつがどんなものなのか気になる、実際に食べてみたいという保護者からのご意見から実施。保護者会時に試食会を行った。	第一日吉町学童保育所	有 2023.7.8	15人	0円	3,456円	
7	専門講師による体験行事	有 年1回～	子どもたちの発想や知識、経験を広げられるように、専門講師を招いて普段は触れることのない体験をする機会を作る。	第一日吉町学童保育所	有 2024.1～3月	44人	0円	540円	
8	文化施設等での鑑賞マナー体験	有 年1回	日頃生活を共にしている仲間と劇や演奏会などの鑑賞を行い、鑑賞態度やマナーを学ぶ機会とする。	第一日吉町学童保育所	有 2024.2.8	34人	0円	1,997円	
9	保護者会おやつ提供	無 年1回	学童で食べているおやつがどんなものなのか気になる、実際に食べてみたいという保護者からのご意見から実施。保護者会時におやつを持ち帰ってもらった。 恋ヶ窪ブロックで統一をするため。	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所	有 2024.2.17	14人	0円	1,179円	
10	保護者会おやつ提供	無 年1回	学童保育所で食べているおやつがどんなものなのか気になる、実際に食べてみたいという保護者からのご意見から実施。保護者会時に試食会を行った。 恋ヶ窪ブロックで統一をするため。	西恋ヶ窪学童保育所	有 2024.2.17	8人	0円	1,298円	
11	地域の達人名人に教えてもらおう！	有 年1回	地域の農家の方にじゃがいもについての知識、掘り方を教えてもらう。実際にじゃがいも掘りをして、買い取った分持ち帰る。	西恋ヶ窪学童保育所	有 2023.11.29	73人	0円	14,500円	
12									
13									
14									
15									

※1 年間事業計画書に記載している自主事業については、すべて実施状況を記載してください。

※2 実施の有無が「無」の場合のみご記入ください。

収支決算書
(令和5年度)

令和5年4月1日 から 令和6年3月31日

施設名	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所／第一日吉町学童保育所／西恋ヶ窪学童保育所
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
指定管理期間	令和元年4月1日 から 令和6年3月31日

【指定管理業務に係る決算報告】

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘 要
指定管理料	89,881,256	89,881,256	100.0%	
利用料金収入	0	0		
事業収入(市指定)	0	0		
その他の収入	0	2,224,141	#DIV/0!	放課後児童支援員等処遇改善
実質損失				
収入合計	89,881,256	92,105,397	102.5%	

2. 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘 要
人件費				
給与・賃金	61,274,938	63,434,061	103.5%	
社会保険料	6,500,000	7,589,719	116.8%	
手当	915,000	975,843	106.6%	※
その他	337,050	324,032	96.1%	※健康診断・福利厚生
事務費				
消耗品費	925,000	899,745	97.3%	※
印刷製本費	204,000	329,281	161.4%	※
通信費	850,000	656,341	77.2%	※
使用料及び賃借料	888,000	880,776	99.2%	※
保険料	0	0		
その他	891,600	867,569	97.3%	※募集費・会議研修集会
管理費				
光熱水費				
電気料金	821,000	672,139	81.9%	※
ガス料金	86,000	77,928	90.6%	※
上下水道料金	266,000	308,457	116.0%	※
清掃費	15,000	13,552	90.3%	※
修繕費	25,000	1,170	4.7%	※
警備費	411,840	411,840	100.0%	※
設備保全費				
空調衛生設備保守	0	0		
消防設備保守	52,800	52,800	100.0%	※
電気設備保守	0	0		
その他の保全費	311,080	412,720	132.7%	※子ども110番
事業費(市指定)				
副食費	4,701,000	4,324,548	92.0%	※
教材費・行事費	1,805,000	1,008,015	55.8%	※
細菌検査	132,000	76,406	57.9%	※
租税公課	0	0		
一般管理費(本社経費)	8,468,948	8,468,948	100.0%	※
実質収益		319,507		
支出合計	89,881,256	92,105,397	102.1%	予算達成率は、実質収益を控除

【注意】

科目については、必要に応じて適宜追加修正すること。

消費税納税対象経費については、摘要欄(※印)を表示すること。

指定管理業務に係る決算と自主事業に係る決算は分けて記載すること。

一般管理費(本社経費)は、別に算定根拠を示すこと。

【予算の補正】放課後児童支援員等処遇改善事業2,544,300円交付

【自主事業に係る決算報告】

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘 要
自主事業に係る収入				
3学童保育所合同行事	0	0	#DIV/0!	
お弁当の日(東恋ヶ窪)	0	0	#DIV/0!	
お弁当の日(第一日吉町)	0	0	#DIV/0!	
お弁当の日(西恋ヶ窪)	0	0	#DIV/0!	
卒所生を招いたお楽しみ	0	0	#DIV/0!	
	0	0	#DIV/0!	
実質損失				
収入合計	0	0	#DIV/0!	予算達成率は、実質損益を控除

2. 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘 要
自主事業に係る支出				
3学童保育所合同行事	70,000	54,664	78.1%	
お弁当の日(東恋ヶ窪)	60,000	39,956	66.6%	
お弁当の日(第一日吉町)	27,500	15,139	55.1%	
お弁当の日(西恋ヶ窪)	42,500	33,369	78.5%	
卒所生を招いたお楽しみ	10,000	0	0.0%	
保護者会おやつ提供(第一)		3,456	#DIV/0!	
専門講師による体験行事(		540	#DIV/0!	
文化施設等での鑑賞マナー		1,997	#DIV/0!	
保護者会おやつ提供(東恋		1,179	#DIV/0!	
保護者会おやつ提供(西恋		1,298	#DIV/0!	
地域の達人名人に教えても		14,500	#DIV/0!	
実質収益				
支出合計	210,000	166,098	79.1%	予算達成率は、実質収益を控除

【注意】

科目については、必要に応じて適宜追加修正すること。

消費税納税対象経費については、摘要欄(※印)を表示すること。

指定管理業務に係る決算と自主事業に係る決算は分けて記載すること。

※収支計算に対する総括・自己評価

科目によっては予算額と決算額に差異が生じているが、総計では概ね予算通り執行している。

【指定期間中の状況】

指定管理期間	令和元年4月1日 から 令和6年3月31日
指定管理費 収入総合計額(円)	451,783,195
指定管理費 支出総合計額(円)	449,815,285

指定管理費 市提示の総額上限額(円)	448,288,892
--------------------	-------------

指定期間中の 決算の状況	収入	支出	収支
令和1年度	87,450,690	86,194,452	1,256,238
令和2年度	90,815,530	90,542,241	273,289
令和3年度	89,657,176	89,594,932	62,244
令和4年度	91,754,402	91,697,770	56,632
令和5年度	92,105,397	91,785,890	319,507
計	451,783,195	449,815,285	1,967,910

指定期間中の 自主事業の収支状況	収入	支出	収支
令和1年度	2,250	26,478	-24,228
令和2年度	0	20,137	-20,137
令和3年度	0	36,300	-36,300
令和4年度	0	93,737	-93,737
令和5年度	0	166,098	-166,098
計	2,250	342,750	-340,500

【一般管理費（本社経費），租税公課の算定根拠】

令和5年度 第一・第二東恋ヶ窪学童保育所/第一日吉町学童保育所/西恋ヶ窪学童保育所

当該施設経費額	83,316,942
法人他施設経費額	15,349,133,569
法人総経費額	15,432,450,511

当該施設の経费率 0.540%

法人運営維持費 2,083,895,800
※その他経費（連合会費）を除く

当該施設の法人運営維持費負担額	11,253,037
当該施設の法人運営維持費調整額	-2,784,089
当該施設の法人運営維持費実質負担額	8,468,948

※法人経費科目内訳及び法人運営維持費科目内訳は別紙添付

※本社経費，租税公課の科目内訳も記載すること。

【記入例】

当該施設経費	20,000,000円
他施設 1 経費	18,000,000円
他施設 2 経費	24,000,000円
他施設 3 経費	24,000,000円
他施設 4 経費	14,000,000円
本社経費	5,000,000円
総額	105,000,000円

（内訳）人件費，採用費，研修費，租税公課，減価償却費，広告費を計上。
（算定）

- ・ 按分率：当該施設経費20,000,000円 / （総額105,000,000円-本社経費5,000,000円） = 0.2
- ・ 当該施設の本社経費：5,000,000円 × 0.2 = 1,000,000円

収支報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

科目	第一・第二東恋ヶ窪学童	日吉町学童	西恋ヶ窪学童	小計	合計
1. 収入の部					
指定管理料				89,881,256	
放課後児童支援員等処遇改善				2,224,141	
収入計				92,105,397	92,105,397
2. 支出の部					
人件費					
(第一・第二東恋ヶ窪学童保育所)					
常勤 責任者1名他3名(月給・賞与・通勤費)	14,123,395				
間接人件費 (法定福利費他)	2,277,128				
非常勤 (月給・賞与・通勤費)	12,441,744				
間接人件費 (法定福利費他)	1,512,185				
(日吉町学童保育所)					
常勤 責任者1名他2名(月給・賞与・通勤費)		10,129,240			
間接人件費 (法定福利費他)		1,566,333			
非常勤 (月給・賞与・通勤費)		5,606,861			
間接人件費 (法定福利費他)		153,157			
親子ひろば配置 (月給・賞与・通勤費)		675,455			
間接人件費 (法定福利費他)		11,778			
(西恋ヶ窪学童)					
常勤 責任者1名他3名(月給・賞与・通勤費)			12,380,653		
間接人件費 (法定福利費他)			1,940,440		
非常勤 (月給・賞与・通勤費)			4,012,556		
間接人件費 (法定福利費他)			137,098		
エリア担当・総務経理担当	1,680,000	1,680,000	1,680,000		
その他	177,239	38,855	99,538		
小計	32,211,691	19,861,679	20,250,285	72,323,655	
事務費					
消耗品(事務用品、消耗品、備品)	555,587	173,350	170,808		
印刷製本費	218,540	65,668	45,073		
通信費	291,582	185,881	178,878		
使用料及び賃借料	276,672	302,880	301,224		
保険料	0	0	0		
その他(募集費、会議研修集会)	205,508	345,329	316,732		
小計	1,547,889	1,073,108	1,012,715	3,633,712	
管理費					
光熱水費(電気・ガス・上下水道)	303,086	429,839	325,599		
清掃費	0	10,164	3,388		
修繕費	0	1,170	0		
警備費	139,920	139,920	132,000		
設備保全費(消防設備保守)	17,600	17,600	17,600		
設備保全費(建築設備点検)	198,000	0	107,800		
設備保全費(110番非常通報装置保守)	35,640	35,640	35,640		
小計	694,246	634,333	622,027	1,950,606	
事業費(市指定)					
副食費	2,161,534	938,904	1,224,110		
教材費・行事費	462,772	148,575	396,668		
細菌検査	34,606	23,166	18,634		
小計	2,658,912	1,110,645	1,639,412	5,408,969	
その他					
一般管理費(本社経費)				8,468,948	
小計				8,468,948	
実質収益				319,507	
支出計					92,105,397

決 算 報 告 書

（ 第 1 期 ）

自 2023 年 4 月 1 日

至 2023 年 4 月 30 日

労働者協同組合ワーカーズユープ・センター事業団

東京都豊島区東池袋1-44-3

池袋ISPタマビル

貸 借 対 照 表

2023 年 4 月 30 日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流 動 資 産】	【 6,319,892,765】	【流 動 負 債】	【 4,734,031,008】
現 金 及 び 預 金	4,579,162,597	買 掛 金	43,723,820
売 掛 金	1,415,795,884	短 期 借 入 金	1,220
商 品	2,584,988	未 払 金	3,192,081,721
原 材 料	1,016,810	未 払 法 人 税 等	227,795,924
貯 蔵 品	162,392	未 払 消 費 税 等	102,976,635
短 期 貸 付 金	8,843,244	未 払 費 用	777,957,451
立 替 金	190,225,456	前 受 金	14,643,290
仮 払 金	27,414,652	預 り 金	199,578,214
前 払 費 用	40,652,943	給 与 天 引 預 り 金	175,272,733
前 払 交 通 費	8,578,441	【固 定 負 債】	【 130,013,573】
預 け 金	2,096,510	長 期 預 り 金	65,522,073
未 収 金	53,581,013	仕 事 お こ し 預 り 金	107,500
未 収 収 益	601,835	協 力 債	64,384,000
貸 倒 引 当 金	△10,824,000		
【固 定 資 産】	【 936,370,094】		
(有 形 固 定 資 産)	(692,120,064)		
建 物	138,790,228		
建 物 減 累 額	△26,446,717		
建 物 付 属 設 備	566,558,569		
建 物 付 属 設 備 減 累 額	△217,276,745		
構 築 物	13,385,294		
構 築 物 減 累 額	△2,815,593		
車 両 運 搬 具	119,540,962		
車 両 運 搬 具 減 累 額	△103,424,238		
機 械 装 置	39,403,962		
機 械 装 置 減 累 額	△21,071,138		
工 具 器 具 備 品	78,730,397		
工 具 器 具 備 品 減 累 額	△50,611,171		
一 括 償 却 資 産	14,218,324		
建 設 仮 勘 定	15,988,800		
土 地	127,149,130		
(無 形 固 定 資 産)	(13,830,118)		
ソ フ ト ウ ェ ア	11,889,189		
電 話 加 入 権	207,240		
水 道 施 設 利 用 権	1,258,689		
借 地 権	475,000		
(外 部 出 資 そ の 他 の 資 産)	(230,419,912)		
契 約 保 証 金	55,368,090		
外 部 出 資 金	94,200		
敷 金	154,727,821		
長 期 前 払 費 用	20,229,801		
資 産 の 部 合 計	7,256,262,859		
		負 債 の 部 合 計	4,864,044,581
		純 資 産 の 部	
		【組 合 資 本】	【 2,392,218,278】
		出 資 金	453,587,080
		出 資 金	359,050,000
		出 資 預 り 金	94,537,080
		利 益 剰 余 金	1,938,631,198
		(そ の 他 利 益 剰 余 金)	(1,938,631,198)
		繰 越 利 益 剰 余 金	1,938,631,198
		純 資 産 の 部 合 計	2,392,218,278
		負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	7,256,262,859

自 2023 年 4 月 1 日
至 2023 年 4 月 30 日

損 益 計 算 書

科 目	金 額	円
【事業活動総収入】		
事業収入	450,550,641	
事業収入非課税	878,781,711	
事業費補助金収入	79,105,615	
授産活動収入	6,451,274	
福祉拠点収入	16,184	1,414,905,425
【事業活動総費用】		
期首商品棚卸高	2,569,944	
商品仕入高	3,024,520	
期末商品棚卸高	2,584,988	
仕入高	(3,009,476)	
材料費	12,197,418	
人件費	932,186,138	
外注費	41,938,662	
経費	193,471,579	1,182,803,273
事業活動総利益		(232,102,152)
【一般管理費】		
法人運営管理人件費	100,458,709	
法人運営管理事務費	77,317,116	177,775,825
事業利益		(54,326,327)
【事業外収益】		
受取利息	1,049	
雑収入	1,097,637	
寄付金収入	57,150	
貸倒引当金戻入	984,000	2,139,836
【事業外費用】		
寄付金	2,500	
雑損失	41,271	43,771
経常利益		(56,422,392)
【特別利益】		
固定資産売却益	910	
保険金収入	15,611	16,521
【特別損失】		
固定資産処分損	74,227	74,227
税引前当期純利益		(56,364,686)
法人税、住民税及び事業税		31,338,620
当期純利益		(25,026,066)

法人運営維持費

自 2023 年 4 月 1 日
至 2023 年 4 月 30 日

科 目	金 額	円
【法人運営管理人件費】		
役 員 報 酬	6,099,760	
給 与 諸 手 当	65,319,992	
一 時 金	10,545,607	
法 定 福 利 費	11,340,427	
福 利 厚 生 費	4,740,509	
通 勤 費	2,412,414	100,458,709
【法人運営管理事務費】		
外 注 費	2,203,626	
廃 棄 物 処 理 費	16,350	
謝 礼 金	279,921	
シ ス テ ム 使 用 料	5,442,242	
地 代 家 賃	14,124,166	
車 両 費	237,348	
リ ー ス 料	818,478	
修 繕 費	120,683	
保 守 管 理 費	2,706,666	
レ ン タ ル 料	106,902	
水 道 光 熱 費	1,309,281	
器 具 備 品 費	1,685,130	
減 価 償 却 費	506,216	
印 刷 費	822,929	
事 務 消 耗 品 費	923,246	
通 信 費	1,630,231	
諸 手 数 料	535,852	
支 払 保 険 料	306,944	
租 税 公 課	22,075,413	
諸 会 費	439,389	
採 用 費	1,488,254	
渉 外 費	42,749	
広 報 宣 伝 費	95,140	
新 聞 図 書 費	167,093	
会 議 費	1,151,344	
集 会 費	2,499,311	
教 育 研 修 費	605,450	
管 理 諸 費	207,816	
旅 費 交 通 費	3,954,394	
ソ フ ト ウ ェ ア 償 却 費	180,299	
事 業 開 発 推 進 費	1,373,244	
赴 任 費	924,009	
連 合 会 費	8,337,000	77,317,116
一 般 管 理 費		(177,775,825)

事業原価報告書

自 2023 年 4 月 1 日
至 2023 年 4 月 30 日

科 目	金 額	円
期首原材料棚卸高	1,014,151	
材 料 費	12,200,077	
期末原材料棚卸高	1,016,810	
材 料 費	(12,197,418)	
期首商品棚卸高	2,569,944	
商 品 仕 入 高	3,024,520	
期末商品棚卸高	2,584,988	
仕 入 高	(3,009,476)	
仕入・材料費合計		(15,206,894)
給 与 諸 手 当	756,847,741	
雑 給	1,307,058	
一 時 金	36,337,901	
法 定 福 利 費	111,249,918	
福 利 厚 生 費	958,036	
通 勤 費	25,485,484	
人 件 費 合 計		(932,186,138)
外 注 費	25,232,740	
利 用 者 工 賃	4,928,675	
人 材 派 遣 料	3,485,042	
廃 棄 物 処 理 費	1,430,435	
謝 礼 金	5,895,190	
研 修 実 習 費	67,011	
シ ス テ ム 使 用 料	899,569	
外 注 費 合 計		(41,938,662)
燃 料 費	525,766	
衛 生 管 理 費	1,670,583	
賠 償 費	57,260	
副 食 費	8,533,059	
会 場 費	373,340	
教 材 費	2,846,279	
行 事 費	2,617,429	
地 代 家 賃	42,095,742	
車 両 費	5,834,498	
リ ー ス 料	13,024,332	
修 繕 費	2,090,440	
保 守 管 理 費	7,472,352	
レ ン タ ル 料	4,923,149	
水 道 光 熱 費	37,099,858	
器 具 備 品 費	4,313,406	
減 価 償 却 費	5,911,046	
慶 弔 費	26,000	
印 刷 費	4,279,308	

科 目	金 額	
事 務 消 耗 品 費 通 信 費 諸 手 数 料 支 払 保 険 料 租 税 公 課 諸 会 費 採 用 費 渉 外 費 広 報 宣 伝 費 新 聞 図 書 費 会 議 費 集 会 費 教 育 研 修 費 旅 費 交 通 費 ソフトウェア償却費	15,435,623 9,758,885 3,706,537 7,623,039 2,154,705 507,226 4,893,656 65,363 598,388 785,002 228,066 30,592 778,070 3,156,904 55,676	円
経 費 合 計		(193,471,579)
【事業活動総費用】		1,182,803,273

決 算 報 告 書

(第2期)

自：2023年5月1日

至：2024年3月31日

労働者協同組合 ワークーズコープ・センター事業団

東京都豊島区東池袋1-44-3

池袋ISPタマビル

貸 借 対 照 表

2024年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【 6,560,823,972 】	【流動負債】	【 3,592,078,007 】
現金及び預金	3,495,459,457	買掛金	57,518,006
売掛金	2,433,756,597	未払金	1,893,366,713
商品	12,031,938	未払法人税等	49,057,016
原材料	836,128	未払消費税等	80,667,800
貯蔵品	281,905	未払持分	237,300,000
短期貸付金	7,016,888	未払費用	927,510,841
立替金	365,321,044	前受金	60,165,929
仮払金	144,627,714	預り金	113,205,245
前払費用	23,443,907	給与天引預り金	173,286,457
前払交通費	9,639,945	【固定負債】	【 118,167,505 】
預け金	2,340,616	長期預り金	52,379,824
未収金	65,731,377	仕事おこし預り金	5,893,681
未収収益	336,456	協力債	59,894,000
【固定資産】	【 992,746,333 】		
(有形固定資産)	(725,119,403)		
建物	157,161,429		
建物減累額	△ 34,197,763		
建物付属設備	579,277,567		
建物付属設備減累額	△ 243,532,223		
構築物	20,994,326		
構築物減累額	△ 3,988,796		
車両運搬具	137,980,774		
車両運搬具減累額	△ 117,362,037		
機械装置	36,995,426		
機械装置減累額	△ 21,128,449		
工具器具備品	97,652,538		
工具器具備品減累額	△ 63,267,218		
一括償却資産	22,544,557		
建設仮勘定	19,601,200		
土地	136,388,072		
(無形固定資産)	(30,749,231)		
ソフトウェア	27,913,000		
電話加入権	207,240		
水道施設利用権	1,163,712		
借地権	475,000		
営業権	990,279		
(外部出資その他の資産)	(236,877,699)		
契約保証金	39,020,460		
外部出資金	3,117,200		
敷金	172,516,441		
長期前払費用	22,223,598		
資産の部合計	7,553,570,305		
		負債の部合計	3,710,245,512
		純資産の部	
		【組合資本】	【 3,843,324,793 】
		出資金	(2,081,178,226)
		出資金	1,975,600,000
		出資預り金	105,578,226
		利益剰余金	(1,762,146,567)
		利益準備金	2,600,000
		就労創出等積立金	1,300,000
		教育繰越金	1,300,000
		(その他利益剰余金)	(1,756,946,567)
		繰越利益剰余金	1,756,946,567
		純資産の部	3,843,324,793
		負債及び純資産伸合計	7,553,570,305

損 益 計 算 書

科目	金額	うち収益事業		うち非収益事業	
		円	円	円	円
【事業活動総収入】	【 16,299,602,603 】	【 8,932,298,509 】	【 7,367,304,094 】		
事業収入	5,120,970,457	4,038,228,905	1,082,741,552		
事業収入非課税	9,958,242,425	4,294,709,873	5,663,532,552		
事業費補助金収入	1,142,595,589	521,565,599	621,029,990		
授産活動収入	77,636,814	77,636,814	0		
福祉拠点収入	157,318	157,318	0		
【事業活動総費用】	【 14,249,647,238 】	【 7,574,154,831 】	【 6,675,492,407 】		
期首商品棚卸高	2,584,988	2,584,988	0		
商品仕入高	55,190,346	55,105,920	84,426		
期末商品棚卸高	12,031,938	12,031,938	0		
仕入高	(45,743,396)	(45,658,970)	(84,426)		
材料費	146,720,391	105,544,779	41,175,612		
人件費	11,075,995,432	5,910,361,953	5,165,633,479		
外注費	569,333,704	327,343,085	241,990,619		
経費	2,411,854,315	1,185,246,044	1,226,608,271		
事業活動総利益	(2,049,955,365)	(1,358,143,678)	(691,811,687)		
【一般管理費】	【 2,022,739,964 】	【 1,112,506,977 】	【 910,232,987 】		
法人運営管理人件費	1,097,598,912	603,679,401	493,919,511		
法人運営管理事務費	925,141,052	508,827,576	416,313,476		
事業利益	(27,215,401)	(245,636,701)	(△ 218,421,300)		
【事業外収益】	【 146,844,155 】	【 97,717,541 】	【 49,126,614 】		
受取利息	78,394	69,975	8,419		
受取配当金	505	505	0		
雑収入	130,154,798	81,459,702	48,695,096		
寄付金収入	5,786,458	5,363,359	423,099		
貸倒引当金戻入	10,824,000	10,824,000	0		
【事業外費用】	【 1,170,419 】	【 922,471 】	【 247,948 】		
寄付金	1,022,438	807,550	214,888		
雑損失	147,981	114,921	33,060		
経常利益	(172,889,137)	(342,431,771)	(△ 169,542,634)		
【特別利益】	【 10,824,798 】	【 6,330,196 】	【 4,494,602 】		
補助金収入	8,933,035	5,008,047	3,924,988		
固定資産売却益	640,473	495,276	145,197		
保険金収入	1,251,290	826,873	424,417		
【特別損失】	【 323,322,368 】	【 282,324,761 】	【 40,997,607 】		
固定資産処分損	2,724,379	1,693,309	1,031,070		
固定資産圧縮損	5,458,245	2,203,047	3,255,198		
災害損失	29,570	4,820	24,750		
契約損失	315,110,174	278,423,585	36,686,589		
税引前当期純利益	(△ 139,608,433)	(66,437,206)	(△ 206,045,639)		
法人税、住民税及び事業税	36,876,198	36,873,982	2,216		
当期純利益	(△ 176,484,631)	(29,563,224)	(△ 206,047,855)		

自 2023年5月1日
至 2024年3月31日

法人運営維持費

科目	金額	うち収益事業	
		うち収益事業	うち非収益事業
	円	円	円
【法人運営管理人件費】	【 1,097,598,912 】	【 603,679,401 】	【 493,919,511 】
役員報酬	150,237,497	82,630,623	67,606,874
給与諸手当	614,501,013	337,975,557	276,525,456
雑給	4,550,981	2,503,040	2,047,941
一時金	126,093,229	69,351,275	56,741,954
法定福利費	140,009,518	77,005,235	63,004,283
福利厚生費	37,052,952	20,379,124	16,673,828
通勤費	25,153,722	13,834,547	11,319,175
【法人運営管理事務費】	【 925,141,052 】	【 508,827,576 】	【 416,313,476 】
外注費	38,583,827	21,221,105	17,362,722
人材派遣料	737,139	405,426	331,713
廃棄物処理費	591,938	325,566	266,372
謝礼金	3,024,884	1,663,686	1,361,198
研修実習費	295,030	162,267	132,763
システム使用料	72,853,423	40,069,382	32,784,041
地代家賃	175,445,060	96,494,783	78,950,277
車両費	5,290,565	2,909,811	2,380,754
リース料	5,813,554	3,197,454	2,616,100
修繕費	4,955,725	2,725,648	2,230,077
保守管理費	29,859,450	16,422,697	13,436,753
レンタル料	1,128,097	620,453	507,644
水道光熱費	13,370,321	7,353,677	6,016,644
器具備品費	30,174,817	16,596,149	13,578,668
減価償却費	9,445,376	5,194,957	4,250,419
慶弔費	207,830	114,306	93,524
印刷費	9,896,425	5,443,034	4,453,391
事務消耗品費	6,891,606	3,790,384	3,101,222
通信費	14,739,898	8,106,944	6,632,954
諸手数料	6,211,330	3,416,231	2,795,099
支払保険料	2,660,695	1,463,382	1,197,313
租税公課	260,598,964	143,329,430	117,269,534
諸会費	4,398,055	2,418,930	1,979,125
採用費	10,425,540	5,734,047	4,691,493
渉外費	704,672	387,570	317,102
広報宣伝費	2,667,621	1,467,192	1,200,429
新聞図書費	1,607,064	883,886	723,178
会議費	13,195,407	7,257,474	5,937,933
集会費	3,946,787	2,170,733	1,776,054
教育研修費	6,478,320	3,563,076	2,915,244
管理諸費	3,680,500	2,024,275	1,656,225
旅費交通費	42,751,794	23,513,486	19,238,308
総会費	7,842,661	4,313,464	3,529,197
ソフトウェア償却費	3,817,733	2,099,753	1,717,980

法人運営維持費

自 2023年5月1日
至 2024年3月31日

科目	金額	うち収益事業	
		うち収益事業	うち非収益事業
	円	円	円
事業開発推進費	15,698,270	8,634,048	7,064,222
赴任費	6,864,685	3,775,576	3,089,109
雑費	3,000	1,650	1,350
連合会費	108,282,989	59,555,644	48,727,345
一般管理費	(2,022,739,964)	(1,112,506,977)	(910,232,987)

自 2023年5月1日
至 2024年3月31日

事業原価報告書

科目	金額	うち収益事業	
		うち収益事業	うち非収益事業
	円	円	円
期首原材料棚卸高	1,016,810	845,694	171,116
材料費	146,539,709	105,373,352	41,166,357
期末原材料棚卸高	836,128	674,267	161,861
材料費	(146,720,391)	(105,544,779)	(41,175,612)
期首商品棚卸高	2,584,988	2,584,988	0
商品仕入高	55,190,346	55,105,920	84,426
期末商品棚卸高	12,031,938	12,031,938	0
仕入高	(45,743,396)	(45,658,970)	(84,426)
仕入・材料費合計	(192,463,787)	(151,203,749)	(41,260,038)
給与諸手当	8,692,984,493	4,744,875,960	3,948,108,533
雑給	15,330,637	14,546,176	784,461
一時金	825,958,789	398,344,359	427,614,430
利用者賃金	25,831	25,831	0
法定福利費	1,215,394,238	657,667,688	557,726,550
福利厚生費	25,201,721	13,059,465	12,142,256
通勤費	292,938,921	170,434,563	122,504,358
退職給付費用	8,160,802	5,044,839	3,115,963
共通人件費	0	△ 93,636,928	93,636,928
人件費合計	(11,075,995,432)	(5,910,361,953)	(5,165,633,479)
外注費	352,936,130	193,855,082	159,081,048
利用者工賃	55,280,392	55,280,392	0
人材派遣料	54,392,914	19,514,802	34,878,112
廃棄物処理費	10,723,195	5,070,332	5,652,863
謝礼金	86,391,252	47,115,565	39,275,687
研修実習費	2,634,532	2,397,580	236,952
システム使用料	6,975,289	4,109,332	2,865,957
外注費合計	(569,333,704)	(327,343,085)	(241,990,619)
燃料費	5,933,306	1,480,083	4,453,223
衛生管理費	19,106,418	7,180,002	11,926,416
賠償費	6,349,954	3,617,441	2,732,513
副食費	117,087,377	75,002,356	42,085,021
会場費	5,813,888	5,209,375	604,513
教材費	37,425,961	19,275,576	18,150,385
行事費	59,403,556	26,683,675	32,719,881
地代家賃	512,365,166	294,875,771	217,489,395
車両費	77,712,452	43,552,709	34,159,743
リース料	170,054,790	90,829,926	79,224,864
修繕費	53,848,393	8,157,479	45,690,914
保守管理費	109,191,671	21,307,086	87,884,585
レンタル料	54,225,546	43,807,179	10,418,367
水道光熱費	447,447,752	135,183,363	312,264,389

自 2023年5月1日
至 2024年3月31日

事業原価報告書

科目	金額	うち収益事業		うち非収益事業	
		うち収益事業	うち非収益事業	うち収益事業	うち非収益事業
	円	円		円	
器具備品費	42,302,143	28,627,754		13,674,389	
減価償却費	81,363,246	51,018,892		30,344,354	
慶弔費	281,496	207,038		74,458	
印刷費	51,490,821	31,920,695		19,570,126	
事務消耗品費	169,249,116	88,727,658		80,521,458	
通信費	126,890,043	73,692,253		53,197,790	
諸手数料	33,991,117	21,692,452		12,298,665	
支払保険料	59,770,718	33,173,851		26,596,867	
租税公課	16,935,959	10,939,256		5,996,703	
諸会費	4,192,227	2,548,089		1,644,138	
採用費	58,569,172	37,038,129		21,531,043	
渉外費	1,358,070	538,708		819,362	
広報宣伝費	19,604,415	17,644,697		1,959,718	
新聞図書費	10,321,227	4,257,506		6,063,721	
会議費	2,720,593	1,551,313		1,169,280	
集会費	627,479	614,362		13,117	
教育研修費	9,022,950	4,878,346		4,144,604	
旅費交通費	46,553,570	35,908,021		10,645,549	
ソフトウェア償却費	612,456	453,322		159,134	
雑費	31,267	29,492		1,775	
共通経費	0	△ 36,377,811		36,377,811	
経費合計	(2,411,854,315)	(1,185,246,044)		(1,226,608,271)	
【事業活動総費用】	14,249,647,238	7,574,154,831		6,675,492,407	

【資料5】
従事者育成に係る研修実績報告

1. 総括

シフトを調整し出来るだけ参加した。
また、研修を受けられなかった職員へは研修内容を共有できる場の設定を行い、全職員へ共有を行った。

2. 年間研修受講一覧

分野	研修名	概要	主催者	計画			実績		
				実施時期	参加人数	参加内訳	実施時期	参加人数	参加内訳
学童保育所業務に関するもの	子育てミーティング	子育て分野における話し合いの場	指定管理事業者(本部研修)	毎月	1名	第一日吉町学童保育所責任者1名	長期休業期間以外毎月	1名	西恋ヶ窪学童保育所 1名
学童保育所業務に関するもの	いきいき計画勉強会	いきいき計画について	市	4月	4名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所2名 第一日吉町学童保育所1名 西恋ヶ窪学童保育所1名	実施予定なし		
共通―接遇	基礎研修	接遇研修他	指定管理事業者(本部研修)	年2回	未定	各学童保育所新入団者	該当者なし		
その他業務に関するもの	危機管理研修	ハラスメントについて	指定管理事業者(本部研修)	5月	各学童保育所1名計3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	5月11月	2名1名	第一日吉町学童保育所 2名 西恋ヶ窪学童保育所 1名
共通―その他	子どもの発達	子どもの発達について	指定管理事業者(本部研修)	5月	各学童保育所1名計3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	12月	2名	西恋ヶ窪学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 1名
共通―その他	安全衛生推進者研修	安全衛生推進者研修について	指定管理事業者(本部研修)	不定期	各学童保育所1名計3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	7月、10月	3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 1名 西恋ヶ窪学童保育所 1名
共通―その他	コロナ感染予防その他の感染対策について	感染対策について	指定管理事業者(本部研修)	6月	各学童保育所1名計3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	7月	1名	第一日吉町学童保育所 1名
共通―その他	応急救護研修	AEDの使い方、止血方について	指定管理事業者(施設内研修)	6月	各学童保育所1名計3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	9月	5名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 2名 西恋ヶ窪学童保育所 2名
共通―管理者研修	親支援の基本理念と方法	親支援の基本理念について	指定管理事業者(本部研修)	6月	各学童保育所1名計3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	12月	2名	西恋ヶ窪学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 1名
共通―その他	障がい児の発達と放課後等デイサービス	障がい児の発達について	指定管理事業者(本部研修)	7月	各学童保育所1名計3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	1月	2名	第一日吉町学童保育所 1名 西恋ヶ窪学童保育所 1名
共通―管理者研修	リーダー研修	リーダー育成	指定管理事業者(本部研修)	年4回	各学童保育所責任者計3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	6月12月	1名1名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 1名 西恋ヶ窪学童保育所 1名
学童保育所業務に関するもの	保護者との協同	保護者との協同	指定管理事業者(本部研修)	9月	各学童保育所1名計3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	12月1月	1名1名	西恋ヶ窪学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 1名
学童保育所業務に関するもの	安全衛生推進者研修(アレルギー)	アレルギーについて	指定管理事業者(本部研修)	9月	各学童保育所1名計3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	9月	1名	第一日吉町学童保育所 1名
共通―その他	子どもの健康	子どもの健康について	指定管理事業者(本部研修)	10月	各学童保育所1名計3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	12月1月	1名1名	西恋ヶ窪学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 1名
共通―その他	子育てフォーラム	子育て現場同士の情報共有	指定管理事業者(本部研修)	9月	各学童保育所1名計3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	中止		
共通―その他	有償講師による研修	※研修PTにより内容は検討中	市	11月頃	各学童保育所1名計3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	ドッチボール研修		
学童保育所業務に関するもの	子どもの遊び	子どもの遊びについて	指定管理事業者(本部研修)	11月	各学童保育所1名計3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	12月2月	1名1名	西恋ヶ窪学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 1名

学童保育所業務に関するもの	児童館・学童実践事例研修	各現場実践事例情報共有	指定管理事業者(施設内研修)	1月	各学童保育所1名計3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	12月 1月	1名 1名	西恋ヶ窪学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 1名
共通—その他	苦情対応	利用者からの相談や苦情の対応	指定管理事業者(施設内研修)	未定	全職員	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 第一日吉町学童保育所 西恋ヶ窪学童保育所	実施予定なし		
学童保育所業務に関するもの	子ども基本法研修	子どもの権利について	指定管理事業者(本部研修)				12月	1名	西恋ヶ窪学童保育所 1名
共通—その他	コンプライアンス研修	コンプライアンスの重要性について 労務管理について ハラスメントについて 行動規範	指定管理事業者(本部研修)				10月 12月	2名 2名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 1名 西恋ヶ窪学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 1名
学童保育所業務に関するもの	児童館・学童保育所合同職員研修	食物アレルギーについて エピペンの使用方法	市				9月	2名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 1名
学童保育所業務に関するもの	児童館・学童保育所合同職員研修	ドッジボールというツールを使おう	市				10月	3名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 1名 西恋ヶ窪学童保育所 1名
学童保育所業務に関するもの	障がい児PT報告会	障がい児の事例について情報共有や検討	市				11月	5名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 2名 第一日吉町学童保育所 2名 西恋ヶ窪学童保育所 1名
学童保育所業務に関するもの	児童館・学童保育所合同職員研修	ジェンダー研修 性の多様性について	市				11月	2名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 1名
共通—その他	コンプライアンス研修(動画)	コンプライアンスの基本	指定管理事業者(本部研修)				1月	28名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 13名 第一日吉町学童保育所 8名 西恋ヶ窪学童保育所 7名
学童保育所業務に関するもの	児童館・学童保育所合同職員研修	学童期の障がい児へのかかわりについて	市	2月			2月	2名 2名	第一第二東恋ヶ窪学童保育所 2名 第一日吉町学童保育所 2名

事業実施状況 指定管理者 自己評価票（令和5年度）

施設名	国分寺市立 第一・第二東恋ヶ窪学童保育所、第一日吉町学童保育所、西恋ヶ窪学童保育所
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由
画収の支道計 確 性	収支計画に基づき適正に執行されているか	3	毎月収支計画を確認しながら執行している。
	協定等に基づき業務が実施されているか	3	新型コロナウイルス感染症が5類になったこともあり、手作りおやつや手作り昼食等の行事等も行えた。日々の保育やその他の行事等も協定書を確認しながら実施している。
	開館予定日数・開館時間は守られているか	3	規定通り守っている。
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっているか	3	毎月シフトを作成し、加配児童に対しては1ヶ月前に出欠席を確認し、当日の登所によって、必要な職員数を確保している。また、児童数が多い日は分散保育を行うため、人員を増やして対応している。
	管理運営に必要な有資格者（防火管理者等）が確保されているか	3	防火管理者について常に施設にいる現場の職員が資格を取り配置した。また、放課後児童支援員の資格も順次取得している。
	書類は適正に保管され、必要な報告を市に行っているか	3	毎月市へ事業報告をし、他書類についてもファイリングしている。個人情報 は鍵の係る書庫で保存している。また、必要な報告があれば合わせて行っている。
	施設全体が清潔に保たれているか	3	利用者が安心して利用できるよう整理整頓と清掃に力を入れている。修繕が必要な個所は市に報告し、修繕を行った。
	法定点検や検査等は確実に実施しているか	3	法定点検や検査等、規定どおり実施している。
業務の履行状況の評価	利用者の満足度はどうか	3	評価いただいた点については、今後も継続していく。また、保育内容や職員の対応についての意見については、真摯に受け止め、職員間で共有するとともに、利用者にとって安心、安全な学童保育所の運営に取り組んでいく。
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	アンケートや連絡帳等で頂いた意見は職員間で共有し、改善策を考えサービスの向上に努めている。必要があるときには関係機関に相談する等の対応を行っている。
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であるか	3	適切な態度やマナーを守るよう職員間で確認し合い、業務にふさわしい服装を心掛けている。新しい職員に対しては、法人で接遇研修を実施している。
	クレーム等に対して適切に対処しているか	3	保護者の意見等は真摯に受けとめ、改善に向けて常に職員間で共有し、話し合いを行っている。また、市にも報告、相談を密にし、慎重かつ迅速に対応している。保護者や児童との信頼関係づくりを大切にし、怪我や気になること等、お迎え時や連絡帳、電話で伝えるようにしている。
	個人情報が適切に取り扱われているか	3	書類は鍵付きのロッカーにファイリングして保存している。パソコンは外部接続していない端末で管理し、持ち出せないように鍵をかけている。また、保護者とのやり取りや保護者の会とのやり取りの中での個人情報も慎重に取り扱っている。
	業務に必要な研修を実施しているか	3	法人内で研修を企画・参加し、市や東京都などの法人外の研修にも積極的に参加している。
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	在籍する全ての子どもたちが同じように活動に参加できるよう、日々話し合いを重ねている。児童の特性成長段階に合わせて、自立して生活できるよう環境を整えること、また、必要があれば保護者と面談をし、各関係機関の方とも連携している。
	業務の改善を図ったか （※改善の指摘事項があった場合のみ記載）		
サービスの質に関する評価	自然災害等への対応	3	いかなる時でも児童及び職員が適切な行動ができるよう避難訓練を年間6回（火災想定2回、地震想定2回、不審者想定2回）実施した。
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	4	年に数回学級担任の先生方と情報交換を行い、子どもたちの変化により早く気づき対応できるよう努めている。校庭や体育館、空き教室をお借りしての保育を行う等、よい関係が築けている。地域の農家さんの協力を得て野菜の栽培と収穫、就労支援の施設で作られたお菓子の提供、工作のボランティア、ピアノ演奏など、多方面で活躍する地域の方の力をお借りして、様々な経験を通して地域の中での児童の育成ができた。また、放課後子どもプランのコーディネーターの方と会議や連絡を取り合い、協力、連携した。
	配慮を要する児童への対応について	3	特別な支援を必要とする児童に対しては、面談や送迎の時間等を活用し、より細かく児童の様子が伝え合えるよう努め、それぞれの成長過程に合わせた声かけや支援をした。食物アレルギーのある児童に対しては、年度初めに面談をし、保護者とおやつ提供の仕方を一緒に考え対応した。毎日のおやつは複数人で原材料を確認し、別皿で提供するなどの配慮をしている。
指定管理者の自己評価			
総合評価		評価の理由等	
3	市の要求水準を満たしている	指定管理10年目となった。新型コロナウイルス感染症が5類になったこともあり、しばらく実施出来なかった手作りおやつや手作り昼食などの行事も実施することができた。5類になったとはいえ感染症対策については、気を抜かず、昨年度同様、学校の協力のもと、教室や体育館、校庭を使用しながら分散保育を行った。より良い保育を行えるよう、職員は研修を受講し、内容等を職員間で共有した。また、他現場に入り、よい点は持ち帰り、改善すべき点は伝え合うことで、より良い学童保育所運営に努めた。保育のことや、対応に迷ったり、トラブルが起きたときには、法人内で共有、相談し、市にも相談、報告を密に行った。	
		評価者氏名：吉田若菜	

【資料 7 - 1】

令和 5 年度 指定管理者 苦情受付・対応件数報告書

指定管理業務名又は施設名	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所
--------------	----------------

年	月	件数（A + B）	苦情者内訳		対応後完了 件数	その他 件数
令和5年	4月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	5月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	6月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	7月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	8月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	9月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	10月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
11月	0	A	0	0	0	
		B	0	0	0	
12月	0	A	0	0	0	
		B	0	0	0	
令和6年	1月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	2月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	3月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
合 計		0	A	0	0	0
			B	0	0	0

A … 利用者又は家族からの苦情件数

B … A 以外からの苦情件数

対応後完了件数 … 苦情受付後，対応により完了した件数

その他件数 … 苦情を聞き置く等，上記以外の件数

※ 上記に記載されたものは，1 件毎に別紙により 受付日・内容・対応等を記載し，添付してくださ

【資料 7 - 1】

苦情内容および対応詳細

施設名			第一・第二東恋ヶ窪学童保育所	
No.	月	A・B	苦情内容	対応詳細
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

A … 利用者又は家族からの苦情件数

B … A以外からの苦情件数

令和 5 年度 指定管理者 苦情受付・対応件数報告書

指定管理業務名又は施設名	第一日吉町学童保育所
--------------	------------

年	月	件数（A + B）	苦情者内訳		対応後完了 件数	その他 件数
令和 5 年	4月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	5月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	6月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	7月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	8月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	9月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	1 0月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
1 1月	0	A	0	0	0	
		B	0	0	0	
1 2月	0	A	0	0	0	
		B	0	0	0	
令和 6 年	1月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	2月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	3月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
合 計		0	A	0	0	0
			B	0	0	0

A … 利用者又は家族からの苦情件数

B … A 以外からの苦情件数

対応後完了件数 … 苦情受付後，対応により完了した件数

その他件数 … 苦情を聞き置く等，上記以外の件数

※ 上記に記載されたものは，1 件毎に別紙により 受付日・内容・対応等を記載し，添付してくださ

【資料 7 -2】

苦情内容および対応詳細

施設名			第一日吉町学童保育所	
No.	月	A・B	苦情内容	対応詳細
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

A … 利用者又は家族からの苦情件数

B … A以外からの苦情件数

【資料 7-3】

令和 5 年度 指定管理者 苦情受付・対応件数報告書

指定管理業務名又は施設名	西恋ヶ窪学童保育所
--------------	-----------

年	月	件数（A + B）	苦情者内訳		対応後完了 件数	その他 件数
令和 5 年	4月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	5月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	6月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	7月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	8月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	9月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	1 0月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
1 1月	0	A	0	0	0	
		B	0	0	0	
1 2月	0	A	0	0	0	
		B	0	0	0	
令和 6 年	1月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	2月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
	3月	0	A	0	0	0
			B	0	0	0
合 計		0	A	0	0	0
			B	0	0	0

A … 利用者又は家族からの苦情件数

B … A 以外からの苦情件数

対応後完了件数 … 苦情受付後，対応により完了した件数

その他件数 … 苦情を聞き置く等，上記以外の件数

※ 上記に記載されたものは，1 件毎に別紙により 受付日・内容・対応等を記載し，添付してくださ

苦情内容および対応詳細

施設名			西恋ヶ窪学童保育所	
No.	月	A・B	苦情内容	対応詳細
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

A … 利用者又は家族からの苦情件数

B … A 以外からの苦情件数